



《'79ニューモデル第1弾》

新発売! パッソルD メイトV50/V80シリーズ
DT125 YZ80/YZ125/YZ250

〈特集〉意気込み新たに
飛躍の79年へ!

6 さらに大きな伸長をめざして!

スタートはこれだ!

需要期に活きる冬場の活動
歳末から79年商戦のポイント

8

3

11 「ヤマハ原付指導員研修会」スタート
さあ、これからは「自主開催」



いよいよ12月1日から「改正道路交通法」が施行されています。原付車でもヘルメット着用の義務づけ、自動二輪ではすべての道路でのヘルメット着用、高速道路での2人乗り禁止など店頭を通じて徹底していただきたい項目も少なくありません。中でもつい見落されがちなのが「自賠責保険」の強化で、未加入者に対しては「反則点5点」が課される厳しいものです。未加入者の中では更新忘れが圧倒的に多くを占めています。お客さまにはこのわずらわしさを省き、お店にはお客さまの誘惑を、代替促進にお役立ていただくことを目的に、ヤマハでは「交通事故傷害保険」「盗難保険」をプレミアムとしたユニークなセールスキャンペーンを展開中です。お店でもどうぞご参加ください。

カラーセクション

79ニューモデル第1弾 新発売!
ニュー「DT125」「YZ80/125/250」
ニュー「メイトV50/80」「パッソルド」

14

18 2人の世界チャンピオンを迎えて
大観衆を魅了した白熱のデッドヒート
「第4回TBCビッグロードレースF750」

話のパドック
いまお客さまの間では、こんな話題が……

22

24 ファイト満々お店訪問
関モーターズさんこんにちは

年末商戦の進展とともに各地から興味深い話題が集まっています。つまり商店街や流通業界の年末セールのメイン賞品として「パッソラ&パッソラ」が数多く採用されているというものです。写真は、東京・新橋駅周辺の4商店会が主催した「愛の泉まつり」での12台のパッソラの抽選会風景ですが、この他にも山形市商店連合会では100台……など同様のニュースが目立って増えています。
本日にソフトバイクが、婦人層を中心とした一般の人びとに欠かせぬ生活用品となり、賞品として大きな魅力を持つものとなっているからですが、ここにもバイクの市民権の大きな高まりを伺うことができます。この好傾向、79年はさらに大きく前進させたいものです。

話どころ、売りどころ
メカニカルセールストーク/ビジネスセールストーク

26

28 YAMAHA☆トビックス
各地の情報・ご案内

ヤマハ部品・用品コーナー

32

33 安全運転推進本部コーナー
改正された「交通の方法に関する教則」

ハイッ、こちらサービスセンター

34

35 思い出のYAMAHA名車シリーズ ⑫ 350「R1」



12月2日~3日 埼玉秩父「秩父夜祭」

300年の歴史と伝統を誇る、関東地方でも有数の祭として名高い総社秩父神社の夜祭である。この地方は江戸時代から秩父絹の生産地として栄えたが、この祭はこうした山国の人々の民間信仰を今に伝えるもので、特に曳き物は日本三大曳山祭のひとつに数えられている。

2日午前9時の神馬奉獻祭から始まる祭は、夜の豪華な屋台ばやし、笠鉦の行進とつづき、3日夜7時の御旅所下の急坂を登る山車の動きと激しい祭ばやしでクライマックスに達する。

12月3日 島根美保関「諸手船神事」

出雲の国は、神話の多い所だが、この祭も大国主神から事代主神のもとへの「国譲り」急使船の故事を再現するもの。4月の青柴垣神事とともに舟に関連した美保神社の有名な行事である。

故事にもとづき古代の丸木船をかたどり、樟材を接合して作った2隻の諸手船を白装束のこぎ手16名が操り、まず対岸の客人社へ、そして西北の季節風を突いて美保ノ浜から湾内にこぎ出していく。宮瀬までの途中の互いに水をかけ合い、競り合いながらの様が見ものである。



意気込み新たに 飛躍の1979年へ!

不確実性の時代、などといわれた78年にあっても二輪車業界は、他業界からの注目を集めながら著しい伸長を遂げてきました。

中でもヤマハは、「拡大への挑戦こそ、経営を守る道」を合言葉に展開された販売店みなさまの、果敢な「挑戦」によって、マスコミにも再三取り上げられるほど特にめざましい伸長率を示してきました。そしてこの伸長を確実にとらえて、'79年の飛躍に向けて早くも意気込みも新たに活躍される販売店さまの姿が全国で見受けられますが、今月は'78年の躍進ぶりをふり返り、'79年の一大飛躍への布石固めを考えてみましょう。

'79年商戦をリードするニューモデル群、そして歳末から冬場のご商売のポイントともなるセールスキャンペーンも、いち早く用意されています。'78年もあとひと月。さらに大きな「バイクの市民権」と「グッドバイク・フォー・グッドライフ」の世界をめざして'79年商戦のスタートはすでに切られたのです!

前ページにつづいて、ここにご紹介するのは、去る10月17日、九州・宮崎市の宮崎市民会館に、870店を上まわる販売店さまが参集して盛大に開催された「78関東ブロックヤマハフレンド店決起大会」

です。ここではこの席上行なわれたヤマハ発動機・小宮営業担当取締役および伴野東京支店長のご挨拶をもとに、78年の伸長ぶりをふり返り、79年商戦への市場動向をさぐってみましょう。

「この著しい伸長を支えたもの お客さまのニーズに合わせた商品構成 実った地道な需要創造活動」

昭和53年度の二輪車の国内総販売台数は、200万台を上まわる、という年初の予想を若干下まわるとはいえ、ほぼ195万台前後という高い水準に落ち着くものと推測されています。

昭和49年と50年と比べ、実に2倍近い台数になりつつあるわけですが、事実今年1月から9月までの国内総販売台数を見ても対前年比125・5%という著しい伸長率を示しています。中でもヤマハは、同期間で132%と、業界平均を大きく上まわる、まさに特筆すべき伸長をしているのです。

この著しい伸長の背景を考えると、まずあげられるのは、業界をあげての新しいお客さまをつくり出す努力が実を結び、総需要の飛躍的な拡大に大きく貢献したことですが、もちろん、この原動力となつたのは、販売店みなさまが地道に続けてこられた一連の需要創造活動が完全に軌道に乗り、加えてお客さまのニーズに合致した充実した商品構成が、高い評価を集めたことに他なりません。

これをより具体的にみると――
①昨年のパツソルにひき続き、ソフトバイクの第2弾としてこの春に登場した「パツソラ」が好評を集め、販売店さまの適確な売り分けもあって、「パツソル&パツソラ」2タイプをそろったソフトバイクとして着実に売り上げを伸ばしてきた。

②このソフトバイクの相乗効果として、チャビィ、メイトなど既存車種も非常に大きく伸長している。

③50ccスポーツ車が、ヤング需要を中心に依然として安定した需要を確保している。

④「ヤマハスポーツ新時代」を告げて今春登場したニュースポーツシリーズが、スポーツ店みなさまを中心とした販売店さまの積極的な販売活動によって大きな成果をもたらしている。

――というように、各商品系列別それぞれに確実に伸長をもたらしてきているのです。

「バイクに市民権を」というわれわれの目標は、こうしてここ数年のうちに完全に市民権を持ちうるだけの需要を確保し、人びとの生活に完全に定着した商品として受入れられる状態になりつつあることを物語っています。

いまやバイクは人びとの暮しに欠かせぬもの、となつていっています。ソフトバイクを中心に、女性需要がきわめて大きなウエイトを占めていることは、この市民権もまた生活に大きく根づいた、非常に大きなものとなることでしょう。特に20代、30代を中心とした需要は、まだまだ成長を遂げるものです、「一家に一台」のバイク保有に対する可能性も、非常に高まってきた78年の商戦であったわけですから。



保有台数1000万台時代を迎えて

まだまだ伸びるバイク需要 ますます高まる社会的責任

このように、非常に好ましい環境にある二輪車販売ですが、これから'79年にかけて市場はどのように推移していくのでしょうか？

当然のことながら、このような伸長が続くほどバイクの保有台数も急速に伸長しているわけです。従来国内の保有台数はひと口に800万台ラインといわれていましたが、昨'77年に930万台を越え、今年はおそらく1000万台を越えるだろう、と予測されています。

いっぽう免許保有者数をもみても、販売店みなさまの積極的な免許教室活動によって、文字通りの「国民皆免許時代」に向けて加速度的に免許保有人口が増加しているのが現状で、新たに免許年令に達する人だけが免許取得の対象者になるという時代も、そう遠いことではありません。

ここから予想されることは、もちろん需要がまだまだ増加する中で、「代替」需要に対するウェイトが、日毎に高まっていく、ということですね。

当然ご商売のうえではよりキメの細かい新しいお客さまの掘り起こしと、代替の円滑かつ確実な促進が勝負の大きなカギとなってきます。従来のさまざまな販売促進活動、需要創造活動についても

①ソフトバイクユーザーをチャペイ、メイトなど既存車種へ確実に代替移行させる的確な販売促進策の打出し。

②お客さまをしっかりと固定化するお店のイメージアップや個性化と完全なアフターサービスの実施。

③綿密なユーザー管理、商圈管理のう

えに立った効率的な展示試乗会等の開催。
④免許教室プラス乗り方教室の完全定着。――などが、特につよく望まれているのです。

中でも、

保有台数の増加、ユーザーの増加につれて売側の社会的責任がますます強く求められていくことはいうまでもありません。

原付バイク事故の増加傾向が、

社会的にもクローズアップされている中で、免許教室、乗り方教室、店頭指導や講習会における安全運転指導など一連の安全運転推進活動は、売側の姿勢として、特に積極的な取り組みが望まれているところですね。

現在のように伸びる時代にはしっかりと伸長を果して、将来への確固たる素地を作りあげなければなりません。'78年以上に飛躍的な拡大が期待される'79年、この時期に着実に伸長を遂げ、がっちりとお店の基盤を固めるためにも、単にバイクを売るだけではない社会性のあるお店の販売姿勢が、特にいま求められているのです。



会場にみなぎる販売店さまの熱気の中で、'79年への業界動向を述べる小宮取締役営業本部長



↑伸長著しいフレンド店さんの表彰風景

◆威勢のいい万歳三唱で、'79年の躍進を誓いあう関東ブロックヤマハフレンド店のみなさま

さらに大きな 伸長をめざして!



春先きの需要期に向けて、万全の態勢がためを
つづける高島屋商會・高島忠男社長(左)と良典さん

前ページでご紹介した78年ヤマハのめざましい伸長をお店の業績アップに照らしてみるといかがでしょうか? また79年への市場動向の中でお店ではどんなご計画をお持ちですか?
ソフトバイクに、スポーツバイクに。さらに大きな伸長をめざして、スタートが切られた79年の商戦、ここに北から南から躍進めざましいお店のみなさまの「新たな意気込み」をお伝えします。

予約セールを中心に すでに'79年商戦は 始まっている

高島屋商會 高島忠男社長・良典氏・北海道小樽市

11月から4月ぐらゐまで約半年間もの間雪に閉ざされてしまう北海道ですが、逆にいえばそれだけに'79年の商戦も早々と始まっているといえます。というのは、年間販売台数の4割が春先に決まるほど北海道では春先の立上りが勝負手ですから、この期間に春先の予約確保に全力投入しなければならぬのです。

予約セール、下取りセールを積極的なPRで店独自の方法で打出していきます。店頭での商売は修理とスノーモビルや小型除雪機などの冬期商品ですが、ヤマハの場合こうした年間を通じての商品そろえが完成されていますので、冬場でもお客

さまとのおつきあいが途切れることがないのが強味ですね。

特にこの冬から79年にかけては、免許教室による需要の掘り起こしを徹底し、さらに訪問販売などで、拡販していきたいと思っています。当面の目標は免許教室のアフターフォローの充実で合格者の実販率100%を目指すことです。

また、これまでは約80%が高校生のお客さまですが、ファミリーバイクの女性層やビジネス車の割合を高めていきたいと思っています。

地の利をいかした 展示会で大躍進! '79年は移動展示会も

氏家 龍業(氏家建治社長)・宮城県仙台市

今年の初めに「78年は展示会に全力を投入して商圏を拡げていこう」ということを目標に掲げたのです。そして、5月から9月まで毎月1回ないし2回、店から700メートル程離れた団地のスパー前で土曜、日曜の2日間ずつ開催してきました。ヤマハ車の販売実績が倍近くまで伸ばされた78年ですが、ほとんどがこの展示会の成果といってもよいでしょう。

というのも会場が東北一の大団地の中であること、人の集まりも東北一の繁華街・仙台市の一番丁なみという好条件もあって、会場に人の途切れる時はないほどのにぎわいを続けることができたからです。もう展示会というよりも完全に「出張販売」という形でしたね。しかし、一番気を使ったのは、定地定例化がかえってマンネリ化して、お客さまに飽きられてしまうことで、このためにソフトバイク中心は同じでも、50ccスポーツ、ビッグスポーツ、時にはモトクローサーまで展示して、いつも新鮮さを打出していったことです。

来年も、もちろん打って出る商売を主体に考えていますが、今年のノウハウをフルに活かしてまた新しい試みを実行してみたい。いま考えているのは、ヤマハの移動展示車を使って、多少場所を変えながら実施してみたいということです。

業界の拡大は われわれ販売店の繁栄、 積極的な宣伝、外売で 新規プラス代替促進

榎船橋モーターズ(榎江恒彦社長)・千葉県船橋市

南国宮崎の地で開かれた「78関東ブロックヤマハフレンド店決起大会」の席上、870余店さんを代表して力強く来年への抱負を述べられた榎江社長さんです。

「この決起大会を通じて79年に賭けるヤマハのなみなみならぬ意欲も十分に理解することができました。昨今の不況下にあってもこんなに拡大していくわれわれの業界ですが、これもメーカーの商品揃え、広告宣伝とわれわれ販売店の地道な販促活動の三位一体となつての成果でしょう。もちろん大きな自信となっています。

このもり上りをさらに発展させるために79年は特にうちの場合積極的に宣伝活動を続けてソフトバイクを中心に拡販していくことを考えています。今年のソフトバイクは昨年の3倍にも達していますが、やはり伸びる商品で店も確実に伸びよう、というところですね。

従来の固定客中心、口コミ主体の商売からは代替や増車を進めていくことになりましたが、この一方で新しいお客さまに対するアプローチを特に考えています。団地から団地を巡りながらの展示即売会などですね。この時の展示車もソフトバイクに限定せず、オートバイタイプの既存車も必ず合わせて展示していけば、相乗効果も一層期待できるでしょう。」





氏家 輪業
氏家 建治 社長

基本的な販促活動の徹底で つねに二歩先を行く商売を

オートショップ松浦(松浦 隆社長)・愛知県小牧市

開店してからまだ2年半の若い店ですが、商圏にも恵まれ、新店舗だということもありメーカーの政策に忠実にのって、ソフトバイク、ファミリーバイクを主体に1年目で230台以上、今年で350台以上と、自分の予想以上に大幅な成績を残して行くことができました。

この原動力となってきた活動は、免許教室1本です。というのは店頭いつも100台近い展示車があるので、ことさら展示会の必要も感じなかったからです。その分免許教室に全力投入で、合格するまでめんどろをみます。をモットーに毎月第3日曜日に必ず実施してきました。昨年の例ではコンスタントに30~40名の受講生が集まりましたね。もちろん、アフターフォローも電話作戦で徹底してやっています。

しかし、充実した免許教室という店の個性も今年是他店の開催で多少薄れつつあったので、即「免許教室+乗り方教室」で、またひと味ちがった独自性を打出してきました。まだ具体的にこれといったありませんが来年はさらにもうひとつのプラ



予約セール、免許教室、活気あふれる店頭演出……
北国の冬場も、ひとときホットに展開されている

免許取得と乗り方の マスターを徹底して 確実に堀り起こしてきた 潜在需要

高木モータース(高木一憲氏)・大阪市鶴見区

'78年の方針は、まず主力をファミリーバイク、ソフトバイクに置いて女性客に乗っていただくこととした。大阪市内は、女性特に中年婦人層の免許保有率がそれ程高くないということもあって、大阪東営業所とも相談して免許教室を徹底して実施し、女性ユーザーの発掘に当たってきました。

区民会館を会場にしての合同教室ですが、月1回ペースを2回に増やしてもらい、毎回積極的にお客さまを送り込んでいます。

それと、やはり何よりも大切なのは「安全」です。近くの自動車学校を借りて乗り方教室も開いています。もちろんバイクの未購入者も大切

な対象です。まず免許を取ってもらうことが第一、次にこの乗り方教室で実際に乗ってもらうこと。食わずぎらいのお客さまは予想以上に多いものだからね。また展示会も「ヤマハ・ソフトバイクフェア」の形で特に9~11月まで2回のペースで開催して拡販に役立てています。

こうして今年も、トータルで350台、その80%はファミリーバイクでしたが、来年の課題は、免許教室、乗り方教室、展示会、といった活動のそれぞれについて、「いかにお客さまを集めるか?」ということでしょう。チラシの効果や経費を考え、これだけに頼らない効果的な手法をいろいろと考えています。

また、来年はぜひスポーツ車ユーザーの乗り方教室もやってみたいと思っています。

自転車の女性を すべてバイクに! 着実に達成されつつある 大目標

増田サイクル(増田 司社長)・北九州市小倉南区

店の周辺は最近宅地化が著しく進んできたところですが、私の年頭の目標は、「自転車に乗っているこの新興地の女性を全部バイクに!」ということでした。

結果として売り上げは、2倍以上に達していますが、この目標を推進するために採った方法は完全に「免許教室」1本です。月に最低1回、多い時には3回のペースで整備工場2階の常設教室で開いてきました。昨年までヤマハから講師を派遣してもらっていたのですが、今年からは自分で講師を務め、講習のあい間にバイクの話題、ソフトバイクのセールストークなども折り込んでいます。これが後のの購入車決定に役立っているようですね。受講生の募集は捨て看板とお客さまの口コミが主体、合格までの間にみっちり話込んでおきますので特別なアフターフォローをしなくても、合格から免許交付までの2週間の間に、ほとんど決まっています。

来年は、もちろん同じ手法では進歩もないので、試験場への送迎にマイクロバスを導入しようと思っているのですが、このバスの車体を店のPR、教室の告知など広告宣伝にフルに使おうと楽しみにしている所です。

スタートはこれだ!!

需要期に生きる冬場の活動
歳末から'79年商戦のポイント



ヤマハから注意信号

切れていませんが、
自賠責保険。

新 浜松市
は 11-11

さて、今年も残すところあと一ヵ月。いよいよ'78年商戦も大詰めを迎え、全国各地の販売店さんでは歳末セールを中心にして冬場のご商売の展開で大忙しです。おもしろい、今年末は新型メイトとパッソルドの新発売とも重なっているだけにこの年末商戦は'79年商戦の前哨戦としての意味合いも強く、ここでの積極果敢なご商売の展開が'79年の飛躍のカギを握っているともしえるのです。こうした中で、いまヤマハではこの時期にとくに狙いを定めたセールス・キャンペーンを数多くご用意しました。お店でもこの歳末から'79年商戦の立ち上がりにおけるご商売では、ぜひこれらのセールス・キャンペーンをご活用いただき、'79年の飛躍へのステップを築き上げてください。

素晴らしいバイクライフに
青いカードの傷害保険
いま、ヤマハから。

YAMAHA

YAMAHA



切れていませんが
自賠責保険

ヤマハから注意信号

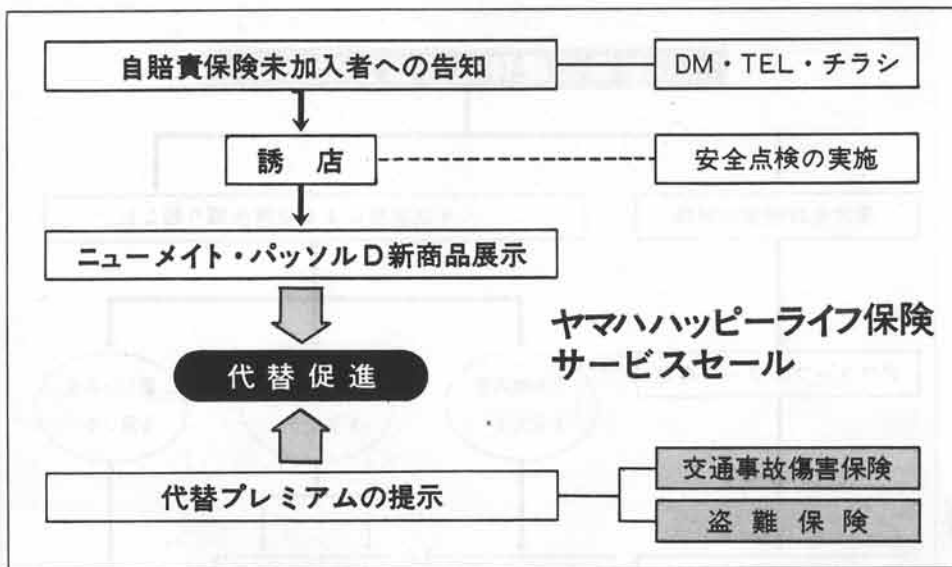
新 浜松市
は 11-11

YAMAHA

素晴らしいバイクライフに
赤いカードの傷害保険
いま、ヤマハから。

YAMAHA





ユーザー名簿にも使える管理カード



DM

チラシ

傷害保険サービスセール告知用3連ポスター



歳末商戦の焦点は春先き需要の先取り作業

一般に「冬場」というと、どうしてもお客さまの意識は閉鎖的・消極的になりがちです。というのも、まず寒いからという理由でバイクを敬遠し、春先きまで待とうという人が大體の傾向で、代替についても来年までは様子を見ようという気持ちの人が大多数を占めているからです。

しかし、だからといってこの冬場はバイク販売にとつてあまり重要な時期でないかというとうと、決してそうではありません。むしろ、この時期はボーナス期とも重なっているために、高額商品の需要が見込まれる絶好のチャンス

でもあり、さらにメイトを中心としたビジネスタイプの年末需要等は毎年大きな成果を上げていくからです。また、この歳末から冬場にかけての時期は、次に迎える商戦のスタートともいえるべき重要な時期。春先きのご商売を先取りした積極的なアプローチや、原付免許教室を利用した新しいお客さまの発掘作業は年々着々と成果を見せており、来たる79年商戦においてもさらに大きな飛躍をかちとる上で重要な役割を担っているのです。

冬場こそ機動力を生かしたご商売の展開を

そこで、この冬場における商戦で、とくに力を入れたのが以下の5項目を中心としたご商売の展開です。

ている冬場のセールス・キャンペーンの骨子でもあるのです。

- ①新しいお客さまを生み出す「種まき作業」
- ②春先きのご商売の先取り作業
- ③道交法一部改正の周知徹底とその利用
- ④ニュー・メイト発売による歳末需要の拡大
- ⑤パッソルド発売による冬場のファミリーバイクユーザーの活性化

そして、この5項目こそ、今回ヤマハが販売店の皆さまにご活用いただくために準備し

と、スロースターターになりがちな冬場。しかしながら、この時期におけるご商売の展開に必要なのは、やはり夏場と同様に機動力を駆使した積極果敢なアプローチで、これらのキャンペーンを展開することにつきま。ただチラシの枚数を増やしたり、プレミアム用品だけで勝負することなく、春先き需要を先取りする地道な活動の展開こそ最も重要で、成果を上げる近道でもあるのです。

決め手は商圏に合わせた効果的なアプローチ

すでに11月から開始されている冬のキャンペーンは、「ヤマハハッピーライフ保険サービスセール」と「冬の原付免許教室キャンペーン」が軸になっているのですが、この'79

年商戦の前哨戦ともいえる冬場のご商売ではこれらのキャンペーンの展開を中心として、さらにそれぞれの商圏に合わせた効果的なアプローチがとめられています。

I. 傷害保険サービスセール

新型メイトとパッソルドを中心とした50ccバイクの拡販策として展開されるこのキャンペーンは、「交通事故傷害保険」および「盗難保険」を新車販売時にセットでお渡しするものです。

責保険加入が強化されるこの時期に「保険」というものを認識させるとともに、代替プレミアムを利用することによってより一層の拡販を計るところに狙いをしています。

12月1日からの道交法一部改正により自賠

リットが、お客さまとの1年間のコミュニケーション

プレミアムの
原付免許試験問題集
テキストに沿って
例題と解説が交互
にもり込まれてお
り、受験前の力だ
めし、教室の予復
習にも最適。お店
での採点カード、
教室受講申込み書
も、別り込まれて
いる。



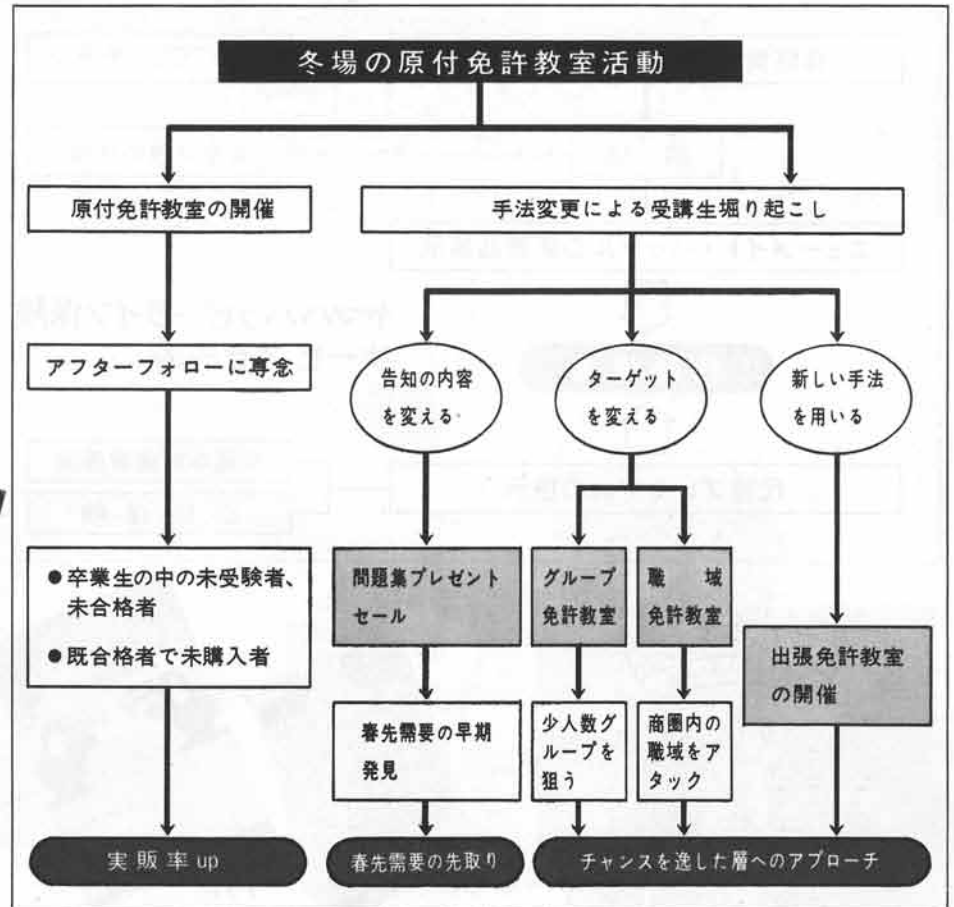
問題集プレゼントセール
チラシ



グループ免許教室用チラシ



職域免許教室用ご案内



①暖くなったら免許を取ろうと思っている人を早期に発見する
②免許教室に出席するまでの勇気はないが自宅で勉強できるなら、という消極組の所在を明らかにする
③従来からの免許教室開催告知からもっとアクションの起こしやすき方法に変え冬場の動員減少をくいとする
これが、この「問題集プレゼントセール」の狙いですが、さらに冬場の免許教室ではユーザーがアクションを起こしやすくし、アクションを起したユーザーは必ず拾い上げることが望まれるだけに、来店者や電話による問合せ者、郵送依頼者を見逃さないよう心掛けることが肝心。

さらに、キヤッチしたユーザーに対しては、免許教室への参加案内をするともに、完全フォローができるようリストを作成し細心のフォローを展開することが実販への道にもつながります。

春先きの「種まき作業」として最も有効的な活動といえば原付免許教室の開催に他なりません。このキャンペーンではとくに冬場の免許教室の動員が減少することを予想して新たに2つの手法を導入。より商圏に合った免許教室の展開を可能にしているのです。

(1) 問題集プレゼントセール
冬場に動員数を確保するための新しい手法としては、まず第1に告知の方法や内容を変えることによって免許教室への興味をおおるやり方があげられます。従来の免許教室開催告知チラシに替えて問題集をプレゼントするというこのキャンペーンの狙いも、まさにその点にあるといえます。

①暖くなったら免許を取ろうと思っている人を早期に発見する
②免許教室に出席するまでの勇気はないが自宅で勉強できるなら、という消極組の所在を明らかにする
③従来からの免許教室開催告知からもっとアクションの起こしやすき方法に変え冬場の動員減少をくいとする
これが、この「問題集プレゼントセール」の狙いですが、さらに冬場の免許教室ではユーザーがアクションを起こしやすくし、アクションを起したユーザーは必ず拾い上げることが望まれるだけに、来店者や電話による問合せ者、郵送依頼者を見逃さないよう心掛けることが肝心。

II. 冬場の原付免許教室キャンペーン

点検システムを作ることも考えられる点です。なお、このキャンペーン用ツールとしては各種保険の加入を呼びかけるポスター3種のほかチラシ、ステッカー、保険内容説明パンフレット、各保険カードがあり、このカードは小冊子形式になっているため顧客管理カードとしても活用できるようになっています。

(2) ニューメイト技術講習会
このほど新発売されたニューメイトの商品特性の浸透を計ったこの技術講習会は、とくに新開店・そば屋等の顧客を抱える販売店さまを対象として開催されるものです。セールスマン・サービスマンのペアで商品をお店に持ち込み、個別に商品特性を説明するところが今回の特色です。どうぞご活用ください。

さらに、この冬場のキャンペーンに彩どりをもえているのが次の2つの販売促進策です。

(1) YZ 80、125、250 新型車拡充キャンペーン
YZ 新発売による拡販を狙ったこのキャンペーンは、主にモトクロス会場における展示試乗会や、RSS店における展示会を中心に展開していただくもの。昨年度のYZ販売ユーザー向けのDM発送などを通じて、新型車の発売告知を行なってください。

III. その他

点検システムを作ることも考えられる点です。なお、このキャンペーン用ツールとしては各種保険の加入を呼びかけるポスター3種のほかチラシ、ステッカー、保険内容説明パンフレット、各保険カードがあり、このカードは小冊子形式になっているため顧客管理カードとしても活用できるようになっています。



受講生がわかるがわる教壇に立って、「講師役」を実演。回を重ねるたびに「講師の腕」はメキメキ上達

本誌10月号でもご案内のとおり、原付免許教室、乗り方教室の自主開催をめざす販売店さまに、講師としての講義の仕方をはじめ、開催に必要な諸々のノウハウを修得していただくための研修会、「ヤマハ原付指導員研修会・3日間コース」が10月より宮城県、仙台、静岡県、磐田、福岡県の「福岡」の3テクニカルセンターを会場にスタートしています。

この研修会は、すでに、磐田で3回、福岡(ヤマハ九州配送センター内)で2回、仙台(スポーツランド菅生内)で1回が開かれる研修風景が繰り広げられていますが、ここでは福岡で行なわれた第1回研修会の模様をレポートしましょう。

三人一組で、教える人、教わる人の立場を演じながら、「乗り方のやさしい手ほどき」をマスター



「ヤマハ原付指導員研修会」スタート さあ、これからは「自主開催」!



↑ヤマハ安全運転推進本部・新田特別指導員の講義に熱心に耳を傾ける受講生のみなさん

←講師やお仲間のみなさんの講義ぶりをテープに収録する受講生の熱心な姿も見られる

福岡県筑後市中長のヤマハ九州配送センター内に新設されたテクニカルセンター福岡の研修会は、沖縄、九州、四国、中国の販売店のみなさまを対象としたもので、今回の第1回研修会には、沖縄、福岡、長崎、高知、香川の5

県から12名の方が参加されました。みなさんの顔ぶれも社長さん、奥さま、従業員の方と多彩。また年令も下は19才から上は56才までと幅広かったです。

1 目 目

原付免許教室の運営の方法を学び 上手な講義の仕方を修得

受講生のみなさんは、免許教室の自主開催がお店の業績アップにどうしても必要であると痛感されていることはもちろんです。

ではなぜ、それを実現することができなかつたか、となるとこれには2通りの理由があります。

多くの場合は、「自分が先生になれない」つまり、人に教える自信がない、といった理由からであり、もうひとつは「受講者を集める方法がよく解らない」といった理由からでしょう。

そこで、この研修会でも、まず免許教室を開催するにあたって考えなければならないこと、準備しなければならぬこと、といった内容から開始されています。

指導に当るのはヤマハ安全運転推進本部・新田特別指導員です。

「受講生の募集は、みなさまのお店の商圏に合わせて行なわなければならない。ただチラシを撒けば人が集まるといものではないのです。

もちろん、チラシの効用性はありますが、他にも店頭告知による方法、お客さまの口コミによる方法……など多くの方法がありますので効率をよく考えて最善の方法を採用することです。

では、チラシで告知する場合はどんなチラシが入びとの目をキャッチできるのでしょうか。ドラックスなものとは限りません。バイクを必要としている人に強く訴へかける何かがな

なければなりません。例えばこのチラシ……といった調子で、具体的な問題について、お店に帰られてすぐに役立つ内容で進められているのが、この研修会の大きな特徴です。

教室運営の方法についての講義が終ると、いよいよ受講生ご自身が講師になるために必要な技術・知識の研修です。

自分で知っていること、理解していることでも、いざ他の人に分かりやすく教えるとなると難しいものですが、これらがこの研修会のメインテーマともいえます。

こうしたテーマの講習は、まず指導員が教材を用いて話し方、教え方の見本を示した後受講生の方が1人ずつ教壇に立って、実際に講義を試みる方法で行なわれます。

そして1人1人の講義について、その場で批評、アドバイスが与えられ、これを繰返しなが、また他の人を参考にしながらマスターしていくわけです。

何度か繰返すことにより――

- ①発声の仕方
 - ②受講生への質問の投げかけ方
 - ③例え話の選び方
 - ④教材や教具の上手な使い方
- ――がきわめてスムーズにマスターされます。

特に昨今の免許教室で重要な女性向けの内容も豊富で、「バイクとは無縁だった人びとに難しい用語や項目、例えばエンジンブレーキだとかギヤチェンジといったものを説明するには、必ず実車を使って……」と実際にパッ

原付指導員研修会に参加して



「実は、うちですとでにわたくしが講師になって免許教室を開いているんです。しかし、自己流なものですから、このような研修会に出席したことは、たいへんよい勉強になりました。いろいろな人の講義の仕方を聞くと、非常に参考になりますね。これからはより効率的に教室運営ができると思います」

長崎県「松藤モーターズ」
松藤洋泰さん



「原付免許試験を受験する人を試験場まで案内することが多いのですが、その途中で交通のルールなどについて、いろいろな質問をされます。そんな時、わかりやすく説明するのがむずかしくて。そこで主人にもすすめられて参加しましたが、説明の仕方のポイントがとてもよくわかり、たいへんためになりました」

福岡県「深谷モーターズ」
深谷辰子さん



「最近では、父に代わってソフトバイクのお客さまなどに、免許の取り方や運転の仕方をコーチすることが増えているんです。研修会の成果を生かして、これからは免許教室や乗り方教室の開催に本格的に取り組んでいくつもりです」

宮本さんは今回の受講生の中では、最年少の19才。こんな2代目、3代目の方の受講も各会場で見立っています。

高知県「鈴木輪業」
宮本哲男さん



これからの免許教室には欠かせない乗り方指導の方法もマスター



沖縄、九州、四国、中国地方のみなさまの研修会場となる「テクニカルセンター福岡」



① 受講生の眠気をさます方法

② 休憩のとり方

2日目

より上手な講義の方法をマスター 効果的なアフターフォローの検討

午前中は1日目の復習ですが、この時にはすでに受講生みなさんの上達ぶりをはっきりと表われています。

みなさん自信を持って、はっきりと、要領よく講義できることに驚かされるほどです。

午後は、いくつかのグループに分かれて、いかに免許教室をご商売に活かしていくかについてのディスカッションです。

つまり合格者に対するアフターフォローの

方法を全員で討議、研究しあうもので、このグループごとの結果を発表しあい、これに講師がアドバイスを加えていきます。

単なる免許教室開催のノウハウのマスターだけにとどまらない、この研修会の大きな特徴が、ここにもあるわけで、まさにご商売に密着した自主教室開催のためのものとなっているのです。

3日目

乗り方指導の要領と実際を学ぶ 自主開催に大きな自信

最終日の3日目は、実技コースにおいて初心者を対象とした「乗り方指導」の実習です。

このコースは、お店の近くのあまり広いくない空地、駐車場などを想定したもので、ここで身近な場所を使つての効果的な指導の方法が講習されます。

方法は、①取りまわし ②アクセルとブレーキの操作 ③始動 ④発進と停止 ⑤直進 ⑥コーナリング ⑦法規履行走行と各ステッ プをひとつひとつ区切って教えていくもので

① 説明する

② 講師が実際にやってみせる。

③ 受講生が理解できたかを確認する

④ 受講生に実際にやらせてみせる

⑤ 悪い点を修正し、上手にできたならばめる

— といった手順を基本として繰返されてい

くものです。

受講生のみなさんは3人1班のグループに分かれ、お互いに、指導する人、教わる人、それぞれの立場に立ちながら、上手な教え方をマスターしていきます。

こうして3日間わたる充実した研修は終了しますが、支給された免許教室用の教材、教具を手に帰路につく受講生のみなさまの表情には、研修前とは打って変わった自信がみまがり、自主教室開催にかける強い決意がうかがわれたものです。

なお、この研修会はずでにご案内のように前記3会場、月1回平均、継続的に開催されています。機会をとらえ、お店からもぜひご参加ください。

'79年商戦のさらに大きな飛躍をめざして、いち早く活発なご商売の展開が期待される歳末から新春。これに合わせて'79年魅力の新車群も相ついで登場です。その第1弾は、ソフトバイクの新商品「パッソルド」とこの時期には欠かすことのできない安定需要の商品ニュー「メイトV50/V80」そして、トレールの人気もの「DT125」。さらにモトクロス界のリーディングマシン・ニュー「YZ80/125/250」です。

戦闘力をさらに高めたウイニングマシン NEW YZ80/125/250

世界のモトクロスライダーの絶大な信頼を集める市販モトクロス「YZ」シリーズも、性能面はもとより乗りやすさ、安全性、整備性などトータルポテンシャルを大幅に向上させた'79年モデルの125/250は11月25日より、また80は12月10日より新発売です。

YZ80 は、まずエンジン関係で●シリンダー、キャブレター、エキパイ等の改良により高性能を高めた。新たに新作のチェンジ機構を備えた6速ミッションを配して、低速から高速までその高性能を幅広く発揮するものとし●軽量・小型なインナーローター式CDI点火方式を採用してスロットルレスポンスの大幅な向上をはかっています。

またフレーム関係でも●各部の強度、剛性アップ、寸法変更等により走行安定性、耐久性を高め●特にフロントフォークとド・カルボン式モノクロスサスペンションにより前後のホイールトラベルを大きく増やして走破性をアップ●合わせてブレーキ、クラッチレバーのパワーレバー化●キルスイッチのブッシュ式など細かな安全対策も加えました。

YZ125 および250は、外観で見ると以上に細部に大幅な改良が施されています。まず「YZ125」のエンジンでは●シリンダーを新作の



アルミ製ボラスメッキとして冷却効率を高め耐久性をアップ●CDI点火方式を採用●燃焼室形

を高くしています。●新作のモノクロスサスペンションは125同様ですが、さらに●チェーンテンション

状の変更で圧縮比を高め●エキクリーナー●キャブレター・セッティング●リードバルブ等の吸気系●マフラー●エキパイ等排気系の改良で●最高出力では1馬力ですが、中低速域では2馬力程度の性能向上を果し、乗りやすさを大きく高めているのが特徴です●ミッションも特にドッグミッションとしたほか●クラッチ、シフト機構とすべての面からミッション関係の操作性、耐久性の向上をはかっています。

フレーム関係も新設計のもので●キャスト角を立ててより取りまわしやすく●モノクロスサスペンションのアウターチューブをアルミ製フィン付として放熱効果を高める一方、軽量化を果し●フロントフォークのストロークを20mmアップして走破性を高めています●クッションストロークの変更が125ではフロントのみですが、これはシート高を押えるためのもので、入門クラスとして多くの参加者を集める125ccのユーザー層を特に考慮したものです。

YZ250 のエンジンも●低速度から高速までワイドな性能アップを果しましたが、これは●シリンダー●エキパイ取出口の形状変更●エキクリーナー●リードバルブ等の改良●高速型CDI点火装置の採用により実現されたもので●これに合わせ6速ミッションのセッティングを大幅に変更し、1-2速間をクロスにして、よりスピーディーなスタートを可能にしたのが、大きな特徴です。

フレーム関係では、125同様●キャスト角を立てたほか●フ

ニュー-YZ仕様諸元

	YZ80	YZ125	YZ250
全長/全巾/全高	1715mm/785mm/965mm	2095mm/950mm/1165mm	2145mm/935mm/1200mm
軸間距離	1180mm	1410mm	1450mm
シート高/最低地上高	720mm/200mm	900mm/290mm	930mm/320mm
乾燥重量	65kg	88kg	99kg
エンジン種類	7ポートトルクインダクション	同左	同左
気筒数配列/総排気量	前傾単気筒/79cc	前傾単気筒/123cc	前傾単気筒/246cc
内径×行程	49×42mm	56×50mm	70×64mm
圧縮比	7.0	8.3	7.9
最高出力	14.5PS/11000rpm	26PS/10000rpm	37PS/7500rpm
最大トルク	0.96kg-m/9500rpm	1.7kg-m/10500rpm	3.55kg-m/6500rpm
始動方式	プライマリーキック	同左	同左
点火方式	CDI	同左	同左
発電機種類	CDIマグネト	同左	同左
燃料タンク容量	4.6ℓ	6.1ℓ	7.6ℓ
潤滑方式	混合式(20:1)	同左	同左
点火プラグ型式	N-2、B-8ES	チャンピオンN-59G	チャンピオンN-2G
キャブレター型式	VM26SS	VM32SS	VM38SS
1次減速機構/減速比	ギヤ/3.143	ギヤ/3.227	ギヤ/2.608
2次減速機構/減速比	チェーン/3.643	チェーン/4.250	チェーン/3.846
クラッチ形式	湿式多板	同左	同左
変速機形式	リターン式6段	同左	同左
フレーム形式	鋼管ダブルクレードル	クロームモリブデン鋼管セミダブルクレードル	クロームモリブデン鋼管ダブルクレードル
キャスト/トレール	28°/80mm	29°30'/128mm	29°30'/128mm
タイヤサイズ・前/後	2.50-16/3.60-14	3.00-21/4.10-18	3.00-21/4.50-18
制動装置・前後	機械式ドラム	同左	同左
懸架方式・前/後	テレスコピック/スイングアーム	同左	同左
緩衝方式・前/後	オイルダンパー・コイルスプリング モノクロスサスペンション	オイルダンパー・エアサスペンション ド・カルボン式モノクロスサスペンション	同左

ナーをファクトリータイプの固定式に●リヤブレーキをフローティングタイプ化してブレーキング時の安定性を向上させたことなども125/250共通の改良点です。また●サイドカバラーのデザイン変更(ゼッケン位置変更と関連)や●大型サイレン

サーの装備(排気騒音低減)は、いずれも新しい国際競技規則に基づいています。この他、125/250とも部分的な大の改良箇所が多数ありますが、専門的な分野はサービスマニュアル等をご参照ください。

新発売! '79年ニューモデル第1弾

NEW DT125
 <12月15日発売>



サンシャインレッド



クリスタルシルバー

商品性を一段と高めた NEW DT125

サンシャインレッドとクリスタルシルバーの鮮やかなカラーリング、グラファイックでニュー「DT125」が、12月15日より新発売となります。

「DT125」といえば、2サイクル・トルクインダクションエンジンと、クロスレシオ6速ミッションが生み出す抜群のパワー、ワイリングに加えて、ド・カルボンタイプモノクロスサスペンションとスリムなボディが作り出すソフトな乗り心地、軽快なフットワークでオンロード、オフロ

ードを問わず、広く好評を得ているモデルです。

初心者からベテランの方まで小型2輪のエース商品として人気のこの「DT125」がカラーリング、グラファイックの変更に加えて——フロントフォークのリーディングアクスル型化●嵌合長アップ●リヤクッションストロークアップ●ロング・フロントフェンダー●パワーレバー——など細部を改良し、乗りやすさを高めての登場です。

NEW YZ250



NEW YZ125



NEW YZ80 <12月10日発売>



より乗りやすく、安全に。経済性も向上。

V50/V50D/V50ED/V50A V80/V80D/V80ED

V50/V80

モスグリーン



V50D/V50ED/V50A/V80D/V80ED

ニューハイスパークルグリーン



V50D/V80D

モウブシルバー



お店の経営基盤を手固く広める安定商品やマハメイトが新シリーズとなって新発売されました。(V50シリーズは11月15日から発売)

50cc、70cc、90ccの従来の3シリーズを、50ccと80ccのラインナップに2本化。新しい80ccフルサイズのニューシリーズは、90ccの性能を70ccクラスの経済性で実現させたものです。

スタンダード、デラックス、セル付、オートマチック(V50のみ)の豊富なバリエーションは変更ありませんが、各車とも「より乗りやすく、より安全に、より経済的に」を徹底的に追求し、使う方の立場に立って細かな部品の一点一点までを見直して改良されたアンダーボーン車の決定版といえるものです。

ランプ●マーカーランプはヘッドランプユニットと一体化●ヘッドランプは操作が楽なハンドルスイッチ点灯●取付け位置を変更、日本語標示のメインスイッチ●ガソリンコックの操作表示も日本語に●巻取り式作動で操作性と整備性を高めたスロットルグリップ●ブレーキライニング摩耗検出装置を新設●ワイヤー調整をボルト式からナット式に変更、整備性をアップしたフロントブレーキ●取付けステーを追加強度アップしたフロントキャリア。

NEW メイトの主な特徴

〔エンジン関係〕

●スムーズで確実な始動、確実な火花が得られ、メンテナンスフリーのCDI点火方式(セル付車を除く)●スロットルワイヤーとオイルポンプワイヤーの伸びを自動的に同調、調整し、オイル消費の増加を防ぐシーソー式ワイヤーシリンダ採用●オイル消費量の低減を計り排気煙を減少するブランジャー径 3.5φの新型オイルポンプ●プラグ取付角度を垂直とし燃焼効率をアップ●マフラー本体の容量アッ

プ、新型副膨張室付サイレンサーでエンジン性能向上と排気音の低減、マフラーのつまりを防止。

〔車体関係〕

●ハンドル高を10mmアップ●ガソリタンクに燃料計を新設●見やすい反射式オイル点検窓●大型化し、夜間オレンジ色照明で見やすい文字盤のスピードメーター●スピードメーターから独立したオイル警告灯とニュートラ

〔電装関係〕

●6V 6A(36W)と発電機(CDIマグネト)の発生電力をアップ、充電量を増してバッテリー上がり防止●テールランプ(6V 5.3W)ストップランプ(6V 17W)フラッシャーランプ(6V 10W/12V 10W)と大幅に明るくなって安全性を向上●テールランプ、マーカーランプはバッテリー点灯式に。



NEW
メイト



“やさしさ”をさらに高めて新発売!

NEW パッソルD

“一家に一台ソフトバイク”の時代を強力に推進するヤマハソフトバイク「パッソル&パッソラー」に、このたび新商品「パッソルD」が加わりました。

この「パッソルD」は、フロントバスケットの標準装備をはじめ、燃料計、オイル警告灯、大型シート……を採用するなど、細部まできめ細かくパッソルの「やさしさ」を追求し、安全性、商品性を一段と高めたものです。

パッソルDの主な特徴

- フロントバスケットを標準装備とし、リアキャリアを大型化（積載重量・前3kg、後5kg）
- 燃料タンク上に、ガソリン残量がひと目でわかる燃料計を新設
- 「止、出、予備」と日本語標示のガソリンコック
- スピードメーター前方にオイル警告灯を新設
- メインスイッチの位置表示も「切、*、入」とわかりやすく（スイッチは2段で*位置での節度はありません）
- ライトスイッチを右レバーホルダー部に移し操作性向上
- シートの大形化とヒンジのスプリングマウントで振動を低減
- フットボードもラバーマウントし振動低減
- マフラーの構造変更とマフラープロテクター裏側のダンパーゴム取付けで排気音を低く、しかもマフラーのビビリ音を消去
- エンジン部のエアシュラウドの裏側に吸音材をとりつけエンジン音を吸収
- フロントプレートの変更とラビリンスリングで防水効果を高め、鳴きリングでブレーキ鳴きを解消した前後ブレーキ
- 見やすく安全な100φの大型バックミラー

パーシモンオレンジ



フレッシュグリーン



ニューホワイト



ハミングブルー



ニューメイトV50/V80仕様諸元

- 全長1840mm ●全巾650mm ●全高1020mm <1025mm>
- シート高730mm <740mm>
- 軸間距離1170mm ●最低地上高130mm <135mm>
- 乾燥重量74kg <79kg>
- 定地燃費90km/ℓ (30km/h) <70km/ℓ (50km/h)>
- 登坂能力19° <13°>
- 最小回転半径1800mm
- 制動停止距離4m (20km/h) <9m (35km/h)>
- 2サイクル・リードバルブ・単気筒49cc <79cc>
- 内径×行程40×39.7mm <47×45.6mm>
- 圧縮比6.6
- 最高出力4.5PS / 6000rpm <6.5PS / 6000rpm>
- 最大トルク0.54kg-m / 5000rpm <0.82kg-m / 4500rpm>
- 点火方式CDI
- 燃料タンク容量4.5ℓ
- オイルタンク容量1.2ℓ
- バッテリー容量6V 4AH ●キャブレターVM14SC <VM15SC>
- ロータリー・シーソー併用式3段変速
- タイヤ(前)2.25-17(後)2.25-17 <2.50-17-6PR>
- リブラグタイプ ●ヘッドランプ6V 25W / 25W <内V80>

フォーミュラ

BCビッグロードレース F750



これは'78世界選手権F750の上位3選手が顔をそろえたが、シリーズ3位
サロン(フランス)は、初の菅生にも安定した走りて総合2位に輝いた

内外のトップライダーとフォーミュラ750(501~750cc)レーサーだけによるわが国ロードレース・イベントのハイライト「TBCビッグロードレースF750」(主催・東北放送、菅生スポーツクラブ)が、10月22日、快晴のスポーツランド菅生ロードコースに、32,000人の大観衆を集めて盛大に開催された。

ヤマハYZRを駆って今シーズンの世界チャンピオンに輝いたアメリカのケニー・ロバーツ(世界GP500cc)とベネズエラのジョニー・チェコット(世界選手権F750)を筆頭に4カ国から5名の外人選手を迎え、国内から高井幾次郎、金谷秀夫ら12名の第一線ライダーが参加するという、国際色あふれる豪華な顔ぶれの第4回大会である。

結果は世界チャンピオンJ・チェコットの総合優勝に終わったが、これら超一流ライダーがくりひろげた35周×2ヒートにわたるスリリングなスピードのドラマは、まさに「ビッグロードレース」であり、モータースポーツの迫力と醍醐味を、より多くの人がひとに余すところなく伝えるものであった。

2人の世界チャンピオン **K・ロバーツ** **J・チェコット** を迎えて 大観衆を魅了した、白熱のデッドヒート

第4回 T

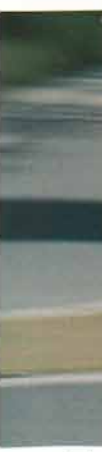


第1ヒートのスタートと同時に世界のトップライダーが好ファイトを展開。⑤高井をトップにチェコット、ロバーツ、金谷とYZR750がつづく



'78世界選手権F750チャンピオンの面目をいかに発揮して第1ヒート3位、第2ヒート1位でみごと初のビッグロードレースを制したJ・チェコット

'78世界GP500ccチャンピオン、F750・2位のスーパースターK・ロバーツ。第1ヒート高井とすばらしい接戦を演じたが、第2ヒートはタイヤトラブルで惜しくもリタイア。⑧はTZ750で第2ヒートみごと2位に入った浅見貞男



今大
のC

750ccレーサーの大パワーが一気にサク裂するスタートの迫力は圧倒的だ。軽々とフロントを上げ、一丸となって第1コーナーへ



第1ヒートの表彰式。すばらしいデッドヒートを演じたロバーツ(左・2位) 高井(1位) チェコット(右・3位)が大観衆の声援に応える



最近にない大規模な国際レースだけにテレビ・新聞、雑誌、専門誌……と報道陣の取材ぶりも一段と熱気がこもる



華やかな国際レースは、選手にとって絶好の国際交流の場でもある。アメリカのエムデを囲んでなごやかに談笑する杉本五十洋(左)と毛利良一



特別プログラムとして、ミッション付カートによる「フォーミュラ・カートレース」の2ヒートが組まれた。参加21台、ハイスピードな独得のレース展開が目された

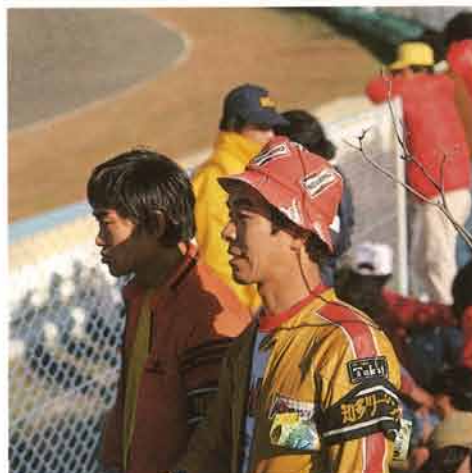
第4回TBCビッグロードレースF750



レースを支える際の主役メカニック陣は、早朝から忙しく動きまわる

レースに先立ち、10月18日には東京・帝国ホテルに多数のジャーナリストを集めて世界チャンピオンK・ロバーツと金谷秀夫、高井幾次郎らヤマハライダーとの記者会見が行なわれた(関連記事30ページ)

ホットなレースに彩りを添えたアトラクション「パンチ・パンチ・パンチ」



「ツーリングをかかえてビッグロードレースを」というお客さまの姿が特に目立ったのも今回の特徴。つめかけたバイクの数は5500台にものぼった

5月の第3回大会のウィナーW・ウィリング(右・オーストラリア)もふたたび登場。世界の強豪を相手に今回は7位



いかにも「キャリアガール」ふうなカメラ
ウーマンですね彼女。キャリアガールって
いったって、荷物運ぶ人のことじゃありません
よ。最近よくいうでしょう、ホラ「できる女」
とか、例の職業婦人のことですよ。
でもカメラウーマンの場合は、ウデが悪い
と本当の「運搬人」になっちゃうんですよ。ね。
カメラやレンズやフィルムなど、重い荷物を
背負って歩いているだけの……そんな「キャリ
ヤガール」にこそお勧めしたいのがソフトバ
イタ、なんていったらおこられるかな。





● 日本海に浮かぶ日本最大の島、佐渡が国歌「佐渡おけき」とともに、ある日突然、全世界に独立宣言するというSF小説もどきの話。

すでに東京の衆議院副議長公邸で「佐渡共和国」独立のための第1回東京会議ともいえる会合も開かれるやら閣僚名簿の輪郭も浮かびあがるやらで、独立仕掛人はいたって大まじめ。いっぽうでは具体化した独立論に、地元から大反対も起こるなど、反応はさまざまです。

そもそもの発端は、農林省食品総合研究所室長の西丸震哉さんが、食糧問題から痛烈な日本国批判の裏返して独立を提案、それに政治家、学者、文化人などが加わって、大国家化した日本の閉塞した状況を憂い、かくて佐渡独立へと話は進められたわけです。

佐渡を選んだ理由は、周囲が海という天然の国境があり、独自性を主張するのに都合が

いい。米の自給率が170%という強味。魚類も豊富。全山の雑木林は薪炭材として十分ありエネルギー問題もOK。つまり戦前型の自給自足態勢は万全というわけ。

ちなみに、西丸私案では、大統領に三宅正一(衆議院副議長)、通産相糸川英夫、外務相磯村尚徳、防衛相イーデス・ハンソン、宣伝相永六輔というのが「おけき内閣」の顔ぶれです。



● 長い間、スキーの裏面にある細長い溝は、進行方向を安定させるのに必要不可欠と信じられていたのに、ここに来て、にわか溝のまったくないノッペラ・スキーがクローズ・アップされています。

昨年あたりからK2のほか、オリン、ブレといったアメリカの有名ブランドが、溝なし板で日本浸透をはかっていますが、溝の効果があるとすれば、ジャンプや滑降くらい。一般のアルペンスキーでは無関係という説もあります。

そういえば、近年溝は浅くなるいっぽうでいまや1ミリ以下というのがほとんど。この溝論争、昨シーズンのワールドカップ最終戦で、大回転と回転を仲よく制覇したアメリカの双子選手、メイヤー兄弟の存在も、一役買っているようです。

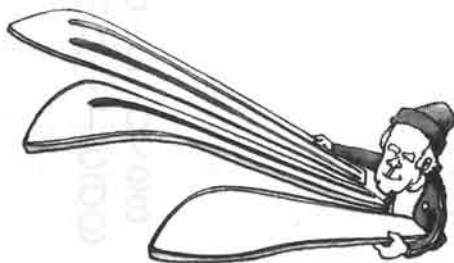
ところが、逆に溝を3本にふやしている板(オーストリア・ケスレー)もあります。もともと3本といっても、平行でなく、トップ

からつま先までが、これまで通り、ブーツの裏側はノッペラで、かかとの部分から2本溝がテールまでというやり方。回転しやすく、かつ過度の回転を抑え、直進安定性は抜群というキャッチフレーズなのですが、いずれにしても、一番の問題はやはりテクニックといえそうです。



● あのかわいいミッキーマウスが、11月18日50歳の誕生日を迎えます。故ウォルト・デズニーが生み出した世界のスーパースター生誕50年とあって、母国アメリカでは大変なブーム。

ミッキーマウスは、まだ売れなかったデズニーが仕事場に出没するネズミをヒントに生み出したキャラクター。1928年11月18日初のトーキー映画「蒸気船ウィリー」に登場したミッキーが大ヒット。以来デズニー・プロダクションのトップスターとして漫画映画の人気をひとり占めしてきたわけです。



● 遊園地の恐怖マシンといえば、まずはローラーコースター。日本でいえばジェットコースターといわれるシロモノ。

聖秀幼稚園のまことちゃんはおろか、大の大人だってチビってしまいそうなおそろしいのが、いまアメリカでバカうけ。20年代以来の黄金時代を迎えています。

日本ではあまりはやらないローラーコースターの歴史は意外に古く、16世紀ロシアのアイス・ライドが元祖とか。摺鉢型の木造斜面に水を張り、そこをすべらせるという、現在のポプスレーのようなもの。それをレールにかえコブを造ったものが1884年にコニーアイランドに出現。これが現在の原型。

ところで、今年の夏、カリフォルニアのアミューズメント・パークにそびえ立った「コロサス」(巨大なもの)は世界一巨大な木造のもの。最大勾配は53度。ピークスピード96km。乗客にかかる重力は3.23G。まさにジェット戦闘機のパイロットが空中戦で受けるGに近いほど。

こんなすごいのが全米あちこちにあります。ヒューストンのアストロドームに隣接する「テキサス・サイクロン」、世界で最初のダブル・レーシング・コースター「レベル・イエル」ダブル・ループ、つまり空中で2回転するアーリントンの「ショック・ウェイブ」などなど。

20年代の1500カ所には及ばないものの驚異的な勢いでふえ続けているのです。



こうしたブームに、キャラクターの著作権をもつ日本のおもちゃからファッションメーカーまで75社は「今でも根強い人気。ブームにでもなれば——」と早くもソワソワ。

またNBCで全米放送される「ミッキーマウス50周年記念スペシャル」、「ニュー・ミッキーマウス・クラブ」の日本放映も計画されており、間もなく、ミッキーが街中にはらんするのは時間の問題かも知れません。



↑奥さまのみつさんは技術面でも関社長を助ける力を持っている

⇒お店の入り口には、女性客のために大きなミラーも用意されている



12月からの道交法改正に伴い、原付のお客さまにヘルメットをすすめる関社長。そのご商売はキメ細いものがある



ひとりの人間を外観だけから判断するのは間違いのもどてはありますが、その人にとって、自分の装いなり生活環境なりを整えることによって、その器に見合った人間により成長していくということは否めない事実のようです。「関モーターズ」関一男社長さんは、今年の10月19日に、それまでの古いお店を建てなおし、写真でご覧のように実にりっぱなお店を新装オープンしました。このすばらしい店がまえにふさわしいお店の業績アップを目指して、決意も新たにヤル気十分の関モーターズさんをおたずねしました。



新装なつたお店ととともに 決意も新たにヤル気十分

フアイト満々お店訪問

関モーターズさんこんにちは

千葉県旭市八-1369
☎04796-2-0798



信用第一をモットーに固定客の拡大

関モータースさんをお訪ねして驚いたのは、お客さんの出入りのはげしいこと。ヤングからお年寄りまで、実に多くの人々がひっきりなしに訪れて来ます。関社長と奥さんのみつさんは、こうした人々を相手に、楽しげに会話を重ねながら、てきぱきと商談を進めています。

「ありがたいことに、みなさんともうこの店をかわいがってくださいます。私がこの店を開いた時(昭和41年)からのお客さんがいまでも変わらず来てくれるだけでなく、多くのお客さんを紹介してくれまます」という関社長の話を受けて、近所で鉄工所を経営する加藤さんやお医者さんの片山先生は、関社長の人となりをお話してくれました。

「社長は誰に対してもわけへだてなく応対し、友だちつき合いができるということが大きな魅力でしょうね。そして常に笑顔を絶やさない。そんなところから気楽に店に入りにできるんですよ」

これに対して関社長。「この店を始めたのが12年ほど前で、どちらかというと新参者でしたので固定客をつかむのに苦労しました。それには、とにかく誠意を持ってお客さんに接し、信用第一を心がけました。例えば修理ひとつとっても、約束の期限を守ることなどを常に大切にしています。これにはヤマハさんからのパーツの供給がしっかりしているのも大いに助かります」

こうしたことはまた、商圏の拡大にも大いに役立つようです。そのことに関しては、取材に同行してくれたヤマハ千葉(株)旭営業所の松原所長が次のように分析しています。

「旭市は人口約3万5千人の農村地帯。ここに約20店ほどの販売店さんがありますのでかなりシビアな市場です。それだけに、商圏も単に旭市内だけでなくより大きく広げる必要があります。その点、昔はモトクロスもやっていた関社長は技術力も相当なものがあ、若い人から年配者までの信用も十分で、車種

からいっても小型から大型まで層の厚いご商売を展開なさっています」

新店舗を生かしてより積極経営を

旭市は房総半島の九十九里海岸の最北端に位置しており、関モータースさんは、旭駅と海岸を結ぶメインストリートに面しています。それだけに、朝夕の通勤時間帯にはお店の前は相当の交通量となります。

「せっかく、こうしたいい所にありながらこれまでは店も古く、目立つ存在ではなかったんですが、おかげさまで新店舗にしてから人の目をひくようになりました。外装のヤマハの看板も、以前のものに較べてぐっと明るくなっています。とくにありがたいのは、女性の方が気軽に店に入りにしてくるようになったことです。このことは、そもそもの改装のための大きな目的のひとつであったわけですけれど」という関社長に、この新店舗を活用しての、今後の関モータースさんご商売の計画についてうかがってみました。

「まず販売目標としては、今年は約2000台ぐらいにはなるだろうと思いますが、来年は手固いところで2割アップを目指します。そのためにはとりあえずPR費を今年の2倍ぐらいに増やしていくつもりです。」

この中では新店舗のアピールはもちろん、免許教室、乗り方教室によるバイクの乗りやすさ、またクレジットによるバイクの買いやすさなどをチラシを中心に広く訴えかけていく予定です。免許教室は月に1回5、6人が受講しますが、実売率100%です。またクレジット扱いは現在30%ですが、お客さんにも好評ですし、うちも大助かりです。これらは、さらに充実させる必要があります。

これと同時に展示会も計画中です。幸い、店の前はかなりのスペースをとってあり、展示会も十分に行なえますので、タイミングをうまくとって、定期的に開催していきます。来たるべき新年度を前に新たな躍進を目指して積極経営を打ち出そうとする関社長、その新店舗にふさわしい一層の「成長」を期してヤル気十分の毎日です。

▶開店当時からのお客さまである片山先生(左=内科医)、加藤さん(中=鉄工所経営)と談笑する関社長



信頼を集めるお店——それはお店のあなたが、お客さまの疑問のひとつひとつに明確に答え、的確なアドバイスをしてあげられることでしょう。店先でのちょっとした会話や新商品の説明など、日頃のご商売の中で発揮されるセールストークの数々。この積み重ねがお店の信頼度を増し、ご商売の発展をのびします。

メカニカル・セールストーク(総集篇)

走行性能曲線図

6月号のこの欄でエンジン編のまとめとして「エンジン性能曲線図」の読みとり方を紹介しましたが、エンジン性能曲線は、そのエンジンのトルク特性、そのトルク特性を仕事量に置きかえた出力特性、さらに燃料消費特性をグラフ化したものです。

そのエンジンのパワーを最大限有効に活かすための目安となるのですが、あくまでもそれはそのエンジン単体についてだけのものでした。

それでは、このエンジン特性にミッションをはじめとする動力伝達機構の要素を組み合わせた実際の走行に即した性能を見たらどうなるか——これをグラフで表わしたものが、「走行性能曲線図」というわけで、カタログなどに

は、エンジン性能曲線図とともに掲載されているのはご承知のとおりです。

つまり、混合気の爆発によってクランクシャフトに発生したトルクはエンジンの動力は一次減速→クラッチ→ミッション→二次減速などの動力伝達装置を経て駆動輪である後輪に伝達され、駆動力となってバイクを走らせるわけですが、この駆動力が、そのバイクの実走行の際にどのように発揮されるか、これが、走行性能曲線図に現わされた「走行性能」というわけです。

まず縦軸にとられた後輪駆動力は、エンジンのトルク特性、総減速比、後輪の有効半径などによって決定される各ギヤ段位における

後輪駆動力を表わしています。

いっぽう、この縦軸から横に描かれたゆるいカーブは、バイクの走行に際して必ず作用する走行抵抗(ころがり抵抗、空気抵抗、加速抵抗)を表わしたもので、各カーブのパーセンテージは、登坂抵抗を示し、0%のラインが平坦路の走行抵抗というわけです。さらに、原点から斜めに伸びた直線は、各ギヤ段位におけるスピードとその時のエンジン回転数を一目で読みとれるものとしています。

では実際に上の「GX400(SP)」の走行性能曲線図を例にとり、これらのさまざま走行性能を読みとってみましょう。

まず走行抵抗は、スピードの増加につれて増大し、しかもある速度を越えると急激に増加するのが一般的です。そして、この走行抵抗0%(平坦路)とトップギヤにおける駆動力カーブの交差する点が、そのバイクの最高速度ということになり、「GX400」では、約160km/hと読みとれます。

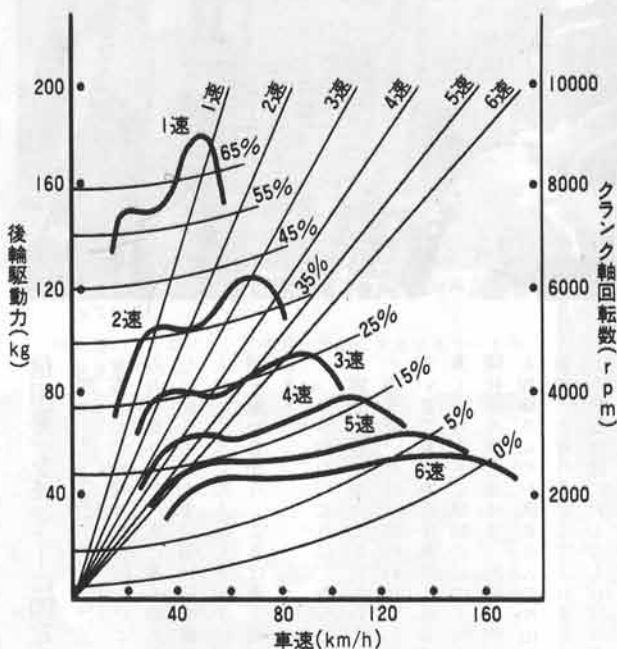
ちなみに、この最高速度点は後輪駆動力カーブの最高点を多少過ぎたところにあります。これは加速との関係で、最高速をほんの僅か犠牲にすることにより、最高速に達するまでの時間を相当に短縮することができるため、このように減速比、変速比のセッティングがなされているからです。

次にこの走行性能曲線から、加速に関するさまざまなデータを読みとることもできますが、これには面倒な数学も必要になってきますので、これは次のように理解されるのが合理的でしょう。

つまり、走行抵抗カーブと駆動力カーブの差が、駆動力の余裕度を表わしている。当然これが加速性能を左右するもので、この差が大きいほど加速性能に優れたバイクである、といえるのです。

また、各ギヤ段位の駆動力カーブから、ギヤの守備範囲と、最も効率よくギヤチェンジ

GX400 走行性能曲線図



走行抵抗0%の曲線とトップ(6速)の後輪駆動力カーブの交点が最高速。この時のエンジン回転数は、右縦軸と傾線6速の交点で求められる。またこの図から3速から6速までがクロスレシオであることもわかる。

をするためのタイミングもつかみとることが
できます。

つまり各変速ギヤ段位の駆動力曲線は、山
型を描いています。これは、いずれもゆるい右下り
となっています。これは、この部分では駆動
力も低下しているわけですから必要以上に一
定のギヤ段位で走らず、駆動力カーブの頂点
付近のスピードの時に、ギヤチェンジしてい
くことが、最も速く加速できるチェンジタイ
ミングである、といえるのです。

次に登坂能力もこの走行性能曲線図からひ
と目で読みとることができます。つまり、登
坂時の走行抵抗曲線よりも、後輪駆動力カー
ブが上方にあるところでは、理論的にはその
勾配は登ることができるといえます。

「GX400」の例でみるとローで、65%
の勾配を登ることができるのが判かりますが、
実際には、これもスピードが40〜50km/hの
間に限られますので、あくまでもこれは理論
上で、実際の登坂能力はもう少しゆるやかに
ならざるを得ません。

これを逆に読むと、15%の坂になるとどん
なスピードでも、トップギヤや5速では登れ
ず、4速までシフトダウンしなければならな
い、さらに25%の坂では3速、さらに余裕を
みて2速まで落さなければならぬこともお
わかりでしょう。

■後輪駆動力は、エンジンのトルクが大き
いほど大きくなる。またこのカーブが、低
速から高速までフラットな方が、ひとつの
ギヤ段位での守備範囲も大きく、乗りやす
いことはいまでもない。

■実走行の際の目安として走行性能を頭
に走るとは効果的だが、当然限度がある。
そこで、大まかな後輪駆動力の特性をエン
ジン回転数との関係でつかみ、タコメータ
ーを見ながら、常時エンジン出力が有効に
得られるようギヤチェンジするのがベター
である。

■GX400の走行性能曲線から、駆動力
の出力特性と回転数の関係を見ると、各ギ
ヤ段位とも8000〜9000回転の間で
駆動力が最高に発揮されている。つまり、
最高の性能を発揮するためには、常にこの
間にエンジン回転を保っておく必要がある
ことがわかる。もちろん、一般公道走行で
は全く必要のないことではあるが……。



ビジネス・セールストーク

さて、こちらで紹介するのはビジネストーク。バイクは欲しいが「予算がない」、「乗れない」、「維持が大変」……等々と語るお客さまの数々の疑問に応えた効果的なセールストークの実例集です。

■すでにバイクを使われているお客さまへ

冬のボーナスを機に 新しいバイクに乗り替えを！

時がたつのは早いもので、もう12月。歳末
大売り出しとまではいかないものの、早やボ
ーナスの季節を迎えています。そこで、この
時期にご商売の上でとくに力を入れたいのが
代替需要の喚起。お手元に管理された顧客名
簿をもとにした、既存ユーザーへの代替促
進作業です。

バイクに限らずそうですが、一般に使い慣
れたものを手離すのは意外と決心を必要とす
るもの。余程のキツカケでもない限り、高価
な商品になればなるほどなかなか新しいもの
と買い替える気持ちにはならないのが普通で
すが、こうしたボーナス期こそ絶好のチャン

■現在使用している二輪車を買ひ替える
と

情報は豊富、適切なアドバイスが 当店のモットーです！

スポーツバイクに興味をもつお客さまへ

スポーツバイクの購入を希望する若いお客
さまのほとんどは、事前にそれらのバイクの資
料を読みあさっている人ばかり。いわば、バ
イク通ばかりです。それだけに、お店に対す
る評価もシビアそのもの。バイクについて深
く、幅広い知識を持つているお店が人気を集
めることになるわけです。

■400ccバイク購入者のアンケート中、
機種選択時に参考にしたものをみると、
まず第一に影響を受けているのが、「専門誌

き、どんな車種にするかをみると、代替車
種として「二輪車」を予定するものが47%、
また「決めてない」が22%、「買ひ替える
つもりがない」が17%。なお、「乗用車」
が14%となっている。これをタイプ別にみ
ると、今後「二輪車」という割合が最
も多いのがアンダーボーン車とビジネス車
のユーザーであり、いずれも58%を占めて
いる。さらに、性別でみると今後も「二輪
車」という割合は男性の46%に対し女性で
は50%とやや高く、また年齢別にみても年
齢が高くなるほどその割合も増している。



の記事」で、続いては「カタログ」「販売店
で実車を見て」の順になっている。さらに、
多いのが「販売店主の意見」だが、このこ
とを見ても店頭で、実車を前にしての商談
が、いかに効果的であるかがわかる。

女性だけのバイク運動会で 安全運転をマスター



〔ヤマハ四国徳島営業所〕増加傾向にある原付バイク事故を減らそう、という安全活動が全国で積極的に展開されています。

この徳島県鳴門市の「藤岡輪業」さんでは、こうした活動の一環として、お店の女性ユーザーばかり30名を集めて10月22日「第一回バイクの

女性安全運転大会」を開き好評を呼んでいました。

日頃から初心者対象の安全運転指導に取組んでいる藤岡輪業さんですが、特に今回はソフトバイクやチャビイなどで乗車歴も長い女性ユーザーに改めて安全運転技術や意識を確認してもらおうと企画されたもので

す。プログラムも会場の鳴門自動車学校のコースを活かしたミニバイク運動会的な色彩の強いもので、楽しみながら、テクニックを確認できると参加した女性ユーザーの反響もすこぶるよく、同店では今後さらに継続して開催しようと、定地定例化に大きな意欲をみせているところで

「おはよう700(セブソノオーオー) 新しいテレビCMが話題です!



日本全国26局のワイドネットで、月曜から金曜までの毎朝7時から1時間にわたり放送されているJNN系朝の人気番組「おはよう700」に10月からヤマハが登場していきなり、11月からはテレビCMも新しくなり、またまた話題を集めています。

グリーンのパツソーラで買った物姿の水沢アキさんが、バイクの効用性をやさしく語りかけるのです。お茶の間に広く深く広がるソフトバイクの話題を、どうぞ店頭でのセールストークにお役立てください。

ちなみに、本誌今号の表紙は、このテレビCMのワンシーンです。

お店のみなさまにも、お客さまにも好評です! ヤマハ原付免許教室 「ビデオ講座システム」と「原付免許自習セット」



この2月からスタートしたヤマハ原付免許教室の新システム「ビデオ講座」は、ご家庭で使われている普通のテレビにヤマハ原付免許教室用のカセットビデオをセットするだけで、その場で手軽に免許教室が開催できるものです。

店頭での少人数の免許教室、合同教室の間隙を埋める自主教室……等の開催が一段と簡単になって、お店のみならずお客さまにも、ご好評をいただいています。

一方「原付免許自習セット」は、いつでもどこでも自由に勉強できる。その特徴をフルに発揮して、特に学生の方や有職婦人など、お忙しい人たちの独学用として活用されているものです。

免許教室活動の一層の充実が大きい期待されるこれからの冬期シーズン、お店でもどうぞこの「ビデオ講座システム」と「自習セット」をフルにご活用ください。

いかがでしたか？ 今年の「ヤマハニュース」
お便り、お電話、お待ちしております。

販売店みなさまの情報誌としてお届けしてまいりました今年「ヤマハニュース」いかがでしたか？ '79年もまた一層誌面の充実をはかり、みなさまの目となり、耳となり、ご商売に役立つ情報をご提供できるよう心がけております。どうぞ情報ネットワークの拡充にご協力ください。また、ご質問、ご相談、取材要請なんでも承ります。お電話で、お手紙で、どうぞお気軽にお寄せください。本誌へのご要望、ご感想もぜひどうぞ——

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社
広報部PR課 ☎05383-2-1111 内線356

（北海道ヤマハ） テレビ局、新聞社、デパート……などが開催している婦人層を対象としたサークル活動文化教室などの活動メニューにヤマハ原付免許教室が組込まれているケースが目立って増えています。

ここ北海道でも、HTV北海道テレビが、同局の婦人文化教室のひとつとして去る10月19日から開催、話題を呼んでいます。札幌市中島の札幌アスレチッククラブで行なわれるこの教室は、午前10時から午後4時までと充実した内容で、すでに2回目も行なわれるなど、予想を上ま

テレビ局の婦人文化教室で ヤマハ原付免許教室開催

わる大きな反響を呼び起こしているものです。



'78クォータートヨット世界選手権大会

優勝!! ヤマハ・マジシャン5世号

日本ヨット界待望の世界選手権制覇!! 国際的評価を得た、ヤマハ技術の結晶「マジシャン5世」号

モータースポーツの世界と同様、マリンスポーツでもヤマハがワールドチャンピオンを獲得、というビッグニュースです。日本で初めて開かれた小型クルーザーヨットによるビッグイベント「'78クォータートヨット世界選手権大会」は、去る10月23日から11月5日にわたり、10カ国32艇が参加し、神奈川県横浜須賀野市佐島マリーナを基地にして盛大に開かれました。

居住設備のついたクルーザーヨットのレースですから、相模湾、そして伊豆七島の三宅島までを舞台に、強い秋の風と波、そして黒潮という厳しい条件の中、5回戦にわたり熱戦をくりひろげたものです。

優勝候補として注目をあつめ参加した、ヤマハ設計陣自信の「マジシャン5世」号（箱守康之艇長）は、その高い帆走性能をフルに発揮、とくに100マイル（180km）、200マイル（360km）の長距離レースにおいて1位、2位というすばらしい成績をおさめ、5回戦にわたるレース結果を（4-3-1-1-5-2）で完走。総合得点197・375をあげ日本ヨット界初の世界チャンピオンの座につきました。

ヤマハのデザインによる「マジシャン5世」のこの快挙は、1975年の「ウイング・オブ・ヤマハ」号による太平洋横断レース優勝に続くもので、あらためてヤマハヨットの優秀性を広く世界に示したものと見えます。



12回目のクォータートワールドは、シビヤな日本の海を舞台に、激しいレースが展開され、外国艇の多くはトラブル続きでリタイアするものが次々と出た。その中でオールラウンドな走りっぷりをみせた「マジシャン5世」であった

効果的に撒かれていますか？ 折込みチラシ

週末、月末に集中！
1ヵ月、1世帯
1新聞で200枚も！

免許教室の受講生募集に、展示会の集客に、またお店の特別セールなどの告知に……いまや新聞折込みチラシは、みなさまのご商売に欠かせぬものとなっていますが、この折込み広告について興味深いデータをご紹介します。

'78年4月～6月の関西の主要地区（大津市、京都市伏見区、大阪市旭区、高槻市、枚方市、神戸市兵庫区など12カ所）での調査結果です。

■1ヵ月の1新聞当りのチラシ点数は、平均で200.5枚にもものほり、最高は332枚もあった。

■週別の折込み状況は、各月とも第4週、つまり月末が多い。

■曜日別では、全体の64.7%が金、土、日の3日間に集中し、最も少ないのが水曜日の9.9%。

——ざっとこんな様子ですが、200枚ものチラシの中で、お店のチラシはいかにしたらお客さまの目をひきとめられるか？ また、配布日や回数はいくつと検討の余地も多い時期にきているようです。



MOTOR SPORTS HIGHLIGHT

H・ミッコラ選手も来日

結果となった。準備こそ万全とはいえなかったが、シリーズが進むにつれて、私のY

ZR500は本来の高性能をフルに発揮し始め、オーストリア、フランス、イタリアの3GPで連続

カラーページでもご紹介のように、「第4回TBCビッグロードレース・フォーミュラ750」は海外から超一流ライダー多数を迎えて、近年にないにぎやかな国際レースを展開しましたが、このレースに出場するため来日した78世界GPロードレース500cc級チャンピオンK・ロバーツ選手の記者会見が、10月18日、東京の帝国ホテルで開かれました。同席が予定された世界選手権F750チャンピオンのJ・チェコット選手は、入国ビザの都合で来日が遅れたものの、ロバーツ選手は高井幾次郎、金谷秀夫の両ヤマハライダー、小宮営業担当、畑技術担当の両取締役らとともに、つめかけたスポーツジャーナリストの質問に次のような内容で熱心に答えていました。

■私にとって初めての世界GPフルシーズン参加は、まさに感動的な

ロバーツ、チェコット、ミッコラ ヤマハの世界チャンピオン 相ついで来日



ともに戦ったYZR500とともに報道陣のフラッシュを浴びるK・ロバーツ選手



12月31日まで好評実施中/ クッションスポーツ24& モトバイクのクリスマスセール “ライダープレゼント”

いまヤマハでは冬休みやクリスマスを迎える小中学生を対象に、クッションスポーツ24とモトバイクのお客さまに楽しい手づくりライダーをプレゼントしていただくクリスマスセールを実施中です。「よろしく、自然児たち」のキャンペーンポスターも大好評。お店でもあとひと月、このプレミアムセールをご活用の方え、クッションスポーツ&モトバイクのご販売、よろしくおねがいたします。

勝負を計時する Cronus いまYAMAHAから新発売!!



Cronus 2D ¥38,000

オフィシャルタイマー用
ラップタイム・トータルタイム同時表示

●通過タイム(トータル)と区間ラップ(インターバル)を同時に計測できます●大きさ11.4×5.7×4.4mm●重量200g●表示範囲59分59秒99●電源単3×3●連続使用13時間●保証期間2年

Cronus は電子ストップウォッチのパイオニアとして世界のモータースポーツ大会で公式時計の実績を数多く残している第一級の製品です。0.01秒を競うモータースポーツの世界では、いまや1/100秒計時が常識。その正確な計時からここ一発の勝負どころが読みとれ、ライダーに、ドライバーに的確なアドバイスがおくられれば、またトレーニング上達の秘訣も生れます。モータースポーツマン必携のデジタル・ストップウォッチの決定版「Cronus」、いまYAMAHAから新発売。お店の商品群にどうぞお加えください。



輸入元 インターニックス株式会社
販売元 ヤマハ発動機株式会社・営業部
〒438 静岡県磐田市新貝2500
☎ 05383 (2) 1111<大代表>



Cronus 3-T ¥25,000

ビットクルー必携のラップ計測

●ラップタイムを連続してワンタッチ1/100秒まで計測●大きさ9.2×6.3×3.8mm●重量150g●表示範囲59分59秒99●電源単3×3●連続使用17時間●保証期間1年



雨を突いてのGPでも大活躍、初のS250チャンピオンに輝いた光安選手

'78全日本選手権モトクロスシリーズ終了 光安選手初のタイトルを獲得 (S250)

いっぽう、500cc世界選手権モトクロスGPでヤマハYZM400を駆って2年連続世界チャンピオンに輝いたH・ミツコラ選手(フィンランド)も11月上旬に来日。
タイトル獲得の報告、国内ジャーナリストの取材、ニューマシンのテストと忙しいスケジュールを精力的にこなし、来シーズンに向けて早ばやと意欲的な活動を開始していたのが印象的です。



全10戦にわたって続けられていた'78全日本選手権モトクロスシリーズは、10月14、15日の両日、三重県鈴鹿サーキットで行なわれた第15回モトクロス日本GPで全日程を終了しました。
このGPでは、125ccクラスで藤秀信選手が総合優勝、250ccでも第2ヒート降りしきる雨を突いて光安鉄美選手が優勝と、セニアクラスにおけるヤマハYZM軍団の強さを示したのですが、全10戦を通じて年間ランキングでも250に光安鉄美、125に瀬尾勝彦とヤマハセニアがチャンピオンの座を独占しています。

特にセニア2年目にしてチャンピオンの座についた光安選手の著しい進境は注目されるどころであり、125の瀬尾選手は2年連続。また125では上位4位までを完全にYZM勢が占めているのも話題を呼んで、ここでも'78ヤマハスポーツスピリットが高らかと示されています。

大盛況のSLカートシリーズ 全国からチャンピオンぞくぞく誕生

優勝を果たした頃には、初の世界タイトル獲得に、自信を深めたものです。
■後半スズキRG500とB・シエラの追撃はすさまじいものでしたが、私はYZR500に全幅の信頼を寄せて、最終戦西ドイツGPでも完全にシエラの挑戦をしりぞけることができました。
■いますべての関係者に感謝の気持ちでいっぱいですが、この夢のよう



なマシン。YZR500の開発に注がれたヤマハ技術陣と金谷、高井両ライダーには特に感謝しています。
■ちなみに、ケニー・ロバーツ選手は、アメリカ人としては史上初の世界チャンピオン。同席したマネージャーK・キアラザース氏ともども、「'79デイトナは勝つためのレースです」と力強く来年の抱負も語っていました。

004号 好評発売中

新しいお客さまをつくるカートスポーツ専門誌

JAPAN KART

「ヤマハニュース」11月号でも報道されたように、いまカートスポーツは人気急上昇。12才からライセンスが取得でき、JAF公認レースに出場できるのはカートのみ。あなたのお店で、ヤマハカートをお扱っていたなら、ぜひ「JAPAN KART」誌の店頭販売をお考えください。年間300を数えるレースやコース情報のほかカートを楽しむ役立つ記事がいっぱい。新しいお客さまをお店につなぎ、売上げアップに貢献します。

して創刊、この11月に第4号を発行しておりますが、54年度からは隔月刊となります。
■発売は全国有名カートショップさんの店頭販売方式で、一般の書店には配布しておりません。このため「JAPAN KART」誌を求めらるお客さまは必ずお店を訪れます。

いまがチャンス！ 綴込みファイル贈呈！
ご注文はヤマハ販売会社へ

「JAPAN KART」誌は10冊単位を1口として何口でもお引受いたしております。お申込みは本号にはさみ込みの申込み書にて、ヤマハセールスマンにお渡しください。また、昭和54年1月末日までに年間購読のご注文いただいたお店には特製の綴込みファイルを贈呈いたします。

「JAPAN KART」(ジャパ・カート)
A4変形版・総ページ64(カラー含む)
定価400円。隔月刊・亜玄(株)発行。

■「JAPAN KART」誌は53年3月に季刊と

主なる内容 ●'78ジャバカートレース詳報 ●JKRに見た世界の技術 ●T・ゾーセルに聞くテクニカルアドバイス ●'78世界選手権カートレース ●連載 ●メカニカルスクール(エンジン編②) ●各地のレース情報・成績ほか

●No.001、002、003のバックナンバーも多少在庫しております。この際に一括してお取揃えください。

ヤマハ ウィンタールック

北風の季節も暖かく、安全に——
お客さまを守る、ヤマハオリジナルの冬物ウェアです。



スノーモビルルック
(防寒ライダーつなぎ)



ヤマハスノーモビル11年の実績とともに生まれた、おなじみのスノーモビルルックは、防寒性も一段と高い。

スノーモビルルック(サロベツ)



スノーモビルルックの防寒性能に、動きやすさをプラスしたオーバーオールスタイルのカラフルなサロベツです。天候や気温に応じてジャケットと合わせて使い分けられるのが特長。

冬將軍の到来を迎えて、寒さも日ごとに厳しさを増してくる頃です。

こんな季節にも、お客さまに安全で快適なバイクライフをお届けするのが、販売店みなさまの大切なお仕事。どうぞ、豊富なヤマハオリジナルの冬物ウェア「ウィンタールック」をおすすめください。

どれも防寒、防水にすぐれ、しかも軽やかな身のこなしを妨げることのないよう特別に開発された商品です。また、ライディング用のウェアとしてばかりでなく、冬場の屋外での仕事着としても最適です。どうぞ幅広くお客さまにおすすめください。

スノーモビルルック(ジャケット)



サロベツと対になったジャケットは、赤、白、黒のカラフルなデザイン。臍腹部分が絞り込まれた活動的なスタイルです。

防寒ルック



綿35%、ポリエステル65%の材質でつくられたスマートな防寒つき服。お店の作業用としても最適です。

防寒防水コート



ナイロン100%、防寒と防水用の特製コートです。フード付の上着とズボンが別売も可能。

●ヤマハ・ウィンタールック商品リスト

スノーモビルルック(防寒ライダーつなぎ)

M	No. 90890-59617	¥ 14,800
L	No. 90890-59618	
LL	No. 90890-59619	

スノーモビルルック(サロベツ)

M	No. 90890-59620	¥ 8,900
L	No. 90890-59621	
LL	No. 90890-59622	

スノーモビルルック(ジャケット)

M	No. 90890-59623	¥ 8,400
L	No. 90890-59624	
LL	No. 90890-59625	

防寒ルック

M	No. 90890-59342	¥ 13,700
L	No. 90890-59343	
LL	No. 90890-59344	

防寒防水コート

M	No. 90890-59578	¥ 13,000
L	No. 90890-59579	
LL	No. 90890-59580	

防寒防水コート(上着)

M	No. 90890-59581	¥ 7,900
L	No. 90890-59582	
LL	No. 90890-59583	

防寒防水コート(ズボン)

M	No. 90890-59584	¥ 5,800
L	No. 90890-59585	
LL	No. 90890-59586	

ウィンタービジネスルック

A	S	No. 90890-59626	¥ 9,800
	M	No. 90890-59351	
	L	No. 90890-59352	
B	LL	No. 90890-59392	
	M	No. 90890-59587	
	L	No. 90890-59588	
ダークブルー	LL	No. 90890-59589	

キルティングジャンパーCYコート

ダークブルー	M	No. 90890-59542	¥ 6,500
	L	No. 90890-59543	
	LL	No. 90890-59544	
レッド	M	No. 90890-59545	
	L	No. 90890-59546	
	LL	No. 90890-59547	

ウィンタービジネスルックA



撥水加工を施したナイロン100%地の防寒つき服。ダークブルーに鮮やかな白のストライプ入りで、スタンドカラーとエリ付の2タイプがあります。

ウィンタービジネスルックB



キルティングジャンパーCYコート



女性のお客さまからスポーツバイクの若者まで幅広くご利用いただける、最も手軽なキルティングジャンパー。ダークブルーとレッドの2カラーが用意されています。

ご存知ですか!? 道交法改正にともない 「交通の方法に関する教則」も改正されています

12月1日からの道路交通法の改正、施行にともなって、当然この道交法をより理解しやすくまとめた「交通の方法に関する教則」も改正されました。ご承知のようにこの教則は、運転免許試験の筆記試験問題の原典ともなるものです。どうぞ一読のうえ、免許教室や店頭指導を通じての徹底をよろしくおねがいたします。

ご承知のように「交通の方法に関する教則」は、道路交通法で決められたルールや安全のために当然守られなければならないマナー、そして運転に必要な知識など、歩行者や運転者が当然理解していなければならないことをわかりやすく解説したものです。

そして、この「教則」に基づき原付免許はもちろん、運転免許試験の筆記試験問題が出題されているわけです。もちろん、ヤマハ原付免許教室で現在教本として使用されている「2輪車と法令」も、この「教則」に基づくものであることはいうまでもありません。

12月1日を期して、交通ルールの大原則である「道路交通法」が一部改正、施行されていますが、当然これにともなって「教則」も改正され、ひいては新しい「教則」に基づいて各都道府県の免許試験内容も一部改正されますし、また「2輪車と法令」についても、「教則」のうちから特に2輪車に関係のある点をまとめた新版が作成されています。

このようにお店のみならずにも、また免許取得希望のお客さまにも、もちろん現在のユーザーのみならずにも、非常に関係の深い「教則」の改正なのです。以下に、改正点と主な内容をご紹介します。どうぞ、より多くのお客さまにお伝えください。

教則に加えられた新たな内容

「教則」の第8章では、二輪車の運転の方法と題して、二輪車に関する項目がまとめられています。この中で特に今回の改正道交法と関連しての改正点また、新たに盛り込まれた内容としては、次のような各項目があります。

1 二輪車の運転車の心得

1-2 乗車用ヘルメットの着用

乗車用ヘルメットをかぶらないで自動二輪車を運転したり、かぶらない者を乗せて運転したりしてはいけません。また、原動機付自転車の運転者も乗車用ヘルメットをかぶらなければなりません。

乗車用ヘルメットは、SマークかJISマークのついたものを使いましょう。工事用安全帽は乗車用ヘルメットではありません。

1-3 乗車人員

自動二輪車で同乗者用座席のないものや原動機付自転車は、2人乗りをしてはいけません。同乗者用の座席がある場合でもなるべく2人乗りはしないようにしましょう。



道交法改正点これにともなう「教則」の改正は、免許教室、店頭指導などを通じて周知徹底したいもの。

また、高速道路では2人乗りをしてはいけません。

3 安全な運転の方法

3-1 カーブでの運転方法

(1)カーブの手前の直線部分で、あらかじめ十分速度を落しましょう。また、カーブでは右側部分にはみ出さないように注意しましょう。

3-3 右折するときの運転

幅の広い道路で右折しようとするときは、十分手前のところから徐々に右側の車線に移るようにしましょう。急に左側の車線から右側の車線に移動すると極めて危険です。

5 その他注意しなければならないこと

5-1 改造の禁止

変形ハンドルは運転の妨げとなり、また、マフラーを取外すと騒音が大きくなるので、このような改造をしてはいけません。

5-2 夜間の通行など

二輪車に乗るときは、体の露出がなるべく少なくなるような服装をしましょう。また、ほかの運転者からみて、よく目に付きやすいものを着用するようにしましょう。夜間は、反射性の衣服または反射材のついた乗車用ヘルメットを着用するようにしましょう。

—おおむね以上のような各項目が、新たに付加されたものですが、当然これらの項目をベースとした試験問題も、新たに含まれてくる

でしょう。また、出題の有無には直接関係はなくても、これらの項目は、当然昨今の交通環境と、二輪車との関係の中から、特に大切な項目として生まれてきたものだけに、その意図するところの理解と周知徹底が、お客さまにとって、特に大切なことはいうまでもありません。

ちなみに、今回の改正で原付車に限っての項目は「ヘルメット着用の義務づけ」ぐらいですが、原付免許試験内容と関連する他の項目としては、次のようなものがあります。

●「普通自転車」の規定が設けられています。

●新たに「自転車横断帯」が設けられ、右のような標示で示されています。



これは自転車を横断中の事故から守るためのもので、法規上は横断歩道と同様に「手前30メートル以内は追越し禁止、追抜き禁止。前後5メートル以内は駐停車禁止」等となります。

●身体障害者の通行保護のために「目の不自由な人が白か黄の杖(従来規定)にかえて盲導犬を連れて通行している場合、さらに車イスに乗った人が通行している場合」でも必ず車の運転者は、一時停止または徐行をして、これらの人を保護しなければならないようになっていきます。

ハイッ、こちら サービスセンター

1年間にわたっておつきあいいただいたこのコーナー、少しでもみなさまのご参考になりましたでしょうか？

いよいよ今年も残すところひと月、師走の声とともに忙しさもひとしおでしょう。寒さも厳しさを増し、また日の暮れもめっきり早まっています。お客さまの安全を守る修理・サービスをよろしくお願いたします。



▲オイルをメンテナンス

「お断りしておきますけどヤマハのバイクじゃありませんよ」と念を押してある販売店さんが、こんなおもしろい話を披露してくれました。

ビッグバイクでツーリングに出かけ、砂利道を行っていたら、セリアーニ型フロントフォークのオイルシールのストッパーリングが外れてしまった(後から判ったことですが)それでオイルシールまで浮き上がりオイルがあふれ出してきた……というわけだ。

これを見て、その販売店さんは考えたというわけだ。普段は、特にセリアーニ型フォークの場合オイルシールを抜くのに苦労してい

る。リングを外し、シールをタガネで切って、先の細いドライバーで掘じくり出していただけに、アルミのアウトナーチューブにキズがついたりしていたのですが、オイルの圧力を逆に利用すればこんなに簡単に外れるのか！と気がついたもの。

そこでまずインナーチューブ上端までオイル(古いものでもよい)を入れ、もと通り密封して、写真のようにプレス台にフォークをはさんで固定し、クリップを外して序じよにフォークを圧縮してみました。予想どおりオイルシールがクッションオイルの油圧で押し上げられ、本当に簡単に浮き上がってしまいました。

多少オイルもこぼれますが、ほとんど手を汚すこともなく、考えてみれば非常に合理的な方法。トラブルも見方ひとつで、すいぶんとおもしろいヒントを与えてくれるものです。



●整備にも「おまじない」を!

修理・サービスにはちよつとした心くばりが、後々の大きなトラブルを未然に防いでくれることも多いものです。

「あの店の修理はシビアだ」とか「あの店で直してもらえば安心」といったお客さまの信頼も、単に修理技術の有無だけでなく、こんな小さなところにあるのかも知れません。

例えば、いったんバラしたシリントラを組み立てる場合など、スタッドボルトを通したらすぐにボルトを締めつけてしまい、規定のトルクで締めれば良い、というものでもありません。

ボルトを締めつける前に、必ずピストンを上下させてみて、シリントラの座わりを決める。ピストンの片当りがなく、最も安定した位置ではじめてボルトを締めつける、といったこととです。レーサーなどでは、こうしたことがそのまま性能にも響いてきますし、一般市販車でも、後々異音発生の原因になりやすいピ

ストンの片当りなども未然に防げるというものの。組み立て全般にいえることですが、単に締め付けばよいというものではなく、ましてやシリントラなどの場合、エキパイを取付けたまま、などというのは決してほめられた話ではないのです。

●小さな部品への大きな気づき

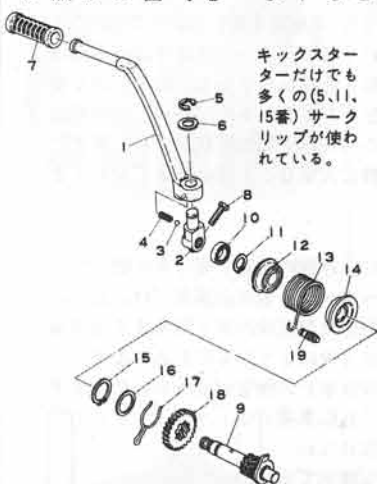
小さな心くばりといえればこんなことも挙げられます。最近のバイクは、販売店さまの整備性のアップを目的に、従来の割りピンやネジにかわって、「サークリップ」が、非常にたくさん使われています。

クリップの役目とワッシャの役目を同時に果たすもので回転部や摺動部など、部分部分に応じてE型のものや丸型のものなど、さまざまな形のものが使われます。

ところで、このサークリップも厳密には裏表があり、当然取付の際には特に気をつけたところでもあります。

型抜きによってテーバーがついている方、つまり面取りがしてある方を内側にして組むのが正解。バリのある方が外側というわけですが、元来がその部分の部品に力がかかっても抜けたり、ズレたりしないためにサークリップがあるわけですが、この裏表のちがいによってこの効果が異なってくるのも当然です。

ブレーキペダル取付部のように直接安全に響いてくるような部分は特に要注意です。もちろん、働きは異なりますがクラッチ板の組立てなども同様で、ツルツルしている方を内側にして組みます。なんでもないのであることですが、クラッチ滑りなどに及ぼす影響は、決して何でもないことではないのです。



●手馴れた作業の思わぬミス

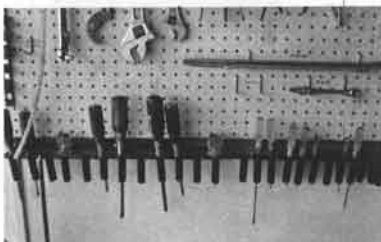
セールズにサービスにとご商売があわただしさを増してくると、ついつい気も急いで手馴れた整備でも思わぬミスを起こしがちですね。本当に、こんな時は普段なんでもない所、手馴れた所ほど多いもので、これからの時期には特にこんな所に気を配りたいものです。

こんな話もありました。2サイクル2気筒車のキャブレター調整のこと、組立て終ってエンジンにかけてみると、回転が上がって一方で全くアイドリングが効かない。よくよく原因を調べてみると、キャブレターのスロツトルバルブを左右逆につけていた、というわけでした。

スロツトルバルブには、ビンにかかるように溝が切ってありますが、当然左右逆でも入ってしまうわけで、これだとカットアウェイがエアの吸入口とは逆にエンジン側を向いてしまう、このため混合気が濃くなりすぎてアイドリングが効かなくなってしまう、という理屈です。きつとこんなミス一度ぐらいはご経験されているのではないのでしょうか? 年末のあわただしい時期くれぐれもご用心。

これは便利重宝です

工具類の中でも最も使用頻度の高いもののひとつが、なんといってもドライバー類でしょう。それだけに点数も多く、整理もめんどろなものなんです。それでいて、使う時には、すぐないと先の作業が全く進められずにお手上げになってしまうだけにやっかいです。



このドライバー類をお店ではどんな風に整理されていますか? 写真のように鉄パイプを短かく切つて、これを溶接してツールボードの下に一列に並べておく、これにドライバーを1本1本差し込んでおけば、見た目にも整然として、きれいで便利です。

1967年(昭和42年)2月発売

R1



- 全長2060mm ●全幅 770mm
- 全高1050mm ●軸間距離1335mm ●車重170kg ●空冷2サイクル2気筒・348cc ●ボア×ストローク61×59.6mm ●圧縮比7.5 ●最高出力36PS / 7000rpm ●最大トルク3.8kg-m / 6500rpm ●最高速度173km/h ●リターン式5段変速 ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●タイヤ寸法(前)3.00-18(後)3.50-18

67年、11年前のこの年は「ヤマハスポーツ新時代」が告げられた今年・78年と同様に、ヤマハスポーツシリーズが、めざましい充実をみせ、一斉に登場した年であった。

つまり180CS1E、250DS1E、350M2、そしてこの「350R1」の4車は、それぞれに強烈な個性を持ち、最新鋭の技術をふんだんにもり込んだヤマハ2サイクルスポーツシリーズとして日本のスポーツ車時代を大きく前進させたものである。

中でもこの「350R1」は、350cc級フルサイズのエンジンを搭載した、ヤマハの最大排気量モデルとして、一段とスケールの大きな走行フイーリングと重厚なスタイルがベテランライダーの人気を集めたものだ。

350cc級を頂点に、スポーツ車の大型化の兆しが見え始めた時代でもあり、この傾向に先鞭をつけた「R1」でもあった。

技術的にも、新開発の「白いエンジン」で話題を呼んだメタリックボンド式アルミシリンダー(鉄アルミ合金を介して鑄鉄のスリーブとアルミのシリンダーパレルを融着し、完全に一体化させたもの)をはじめ、テフロンリップオイルシールなど、細部に至るまで画期的な新技術が数多くちりばめられていた。

また、ヤマハ車としては初めて上下分割式のクランクケースを採用して整備性を高めていたのも思い出深いところであろう。この「R1」は、この年H3、CS1Eとともにグッドデザイン賞を受賞した。

70年の650XS1の登場まで、ヤマハ最大の排気量として君臨したこのシリーズは、68年にティアドロップ型タンクのR2に、69年にはR3、70年には全てを一新したRX350に更に73年のRD350を経て、現在のRD400へと続いて

見聞と体験

群馬県北群馬郡子持村中郷1224-1・池田モータース

池田 伸也氏

「昭和38年に開業するまでは、私も一人のユーザーとしてYD1に乗っていたのですが、その頃はオートバイの音がすると『あっ、伸也さんだ』といわれるほど、近郷近在に私とヤマハのイメージが広がっていました。

開業当初は、YF1やYA5の時代、そしてYG1が店を飛躍させる礎を築いてくれたわけですが、やがて出たのが305のYM1、350R1でした。

このアール・ワンは、私も女房も自家用におろしてどこに行くにも乗って行ったのですが、特に5ポートになったR2からの強烈な加速ぶりが印象よく残っています。

5時すぎになると、勤めから帰ったお客さまが店に集まり『今日も山が呼んでるゾ』といったは、YM1やR1で毎日のように榛名有料道路を走り、コーナリングを楽しんだものです。

今年はまだ新しいヤマハスポーツシリーズがコンスタントに広がっていますが、うちの場合、R1時代からのお客さまが、XS750スペシャルなどに乗りかえているケースがすごく多いんです。ずっと乗り継いで来た人もいますし、途中一時期4輪に乗っていた人もいますが、改めてヤマハ党のお客さまは深く、永いおつきあいができる、と痛感しているところですよ」



↑XS750スペシャルにまたがっている池田社長(左)と奥さま。奥さまはいまもこの750で元気に走りまわっている。もちろん、右側のR1、M1、左のCS1E、YG1も健在だ。

←R1-R2の全盛期。「スポーツのヤマハ」を謳歌したツーリングクラブの面々は、いまでもニューヤマハスポーツのユーザーが多い。

400 CASTWHEEL

YAMAHA GX400SP

キャストホイール車の
強靱さとしなやかさは、
写真では伝えられない。

しかし、GX400SPは語る。

あらゆる走行条件において、2輪車の機能を最大限に発揮するには、ホイールは強靱さと柔軟さがうまくバランスを保たなければなりません。ヤマハキャストホイールは、強度面での配慮はもちろん、材質についてもホイールに適した成分配合の熱処理材を使用し抗張力、ノビなどにも充分配慮し、機能、精度、品質面で理想的なホイールを完成させました。しかし、写真とか言葉で、伝えられるものではありません。

一体成型でつくられたキャストホイールをもつGX400SPには、4つの大きなメリットがあります。高精度だから走行性能が高い。高精度がずっと持続するからメンテナンスフリーである。設計上要求された強度、剛性がバランスよく実現するから強度バランスがとれる。自由に形状がとれるからデザイン性が高い。YAMAHA GX400SPは、これからの時代のこれからのバイク。斬新なデザイン感覚と磨きあげられたエンジニアリングに、いま一体成型のキャストホイー

ルを得て、より完成度の高いオンロードバイクが誕生しました。

YAMAHA GX400SP

- 標準現金価格—¥330,000
- 4サイクル・OHC・2気筒・391cc
- 最高出力—37ps/8800rpm
- 最大トルク—3.2kg-m/8000rpm
- リターン式6段
- ボディカラー/スターブルーメタリック
マコマルーン

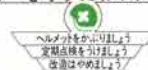


GX400SP

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社 千438 静岡県磐田市新貝2500 TEL05383
021111 資料ご希望の方は資料名・氏名・年令・職業・ご覧になった
雑誌名をご記入の上、郵便切手150円を添えてPR課までお送り下さい。

マナーを守ってさわやかバイク



広告活動ご紹介

二輪専門誌を通じてキャストホイールのメリットをシリーズで訴求してきた『GX400SP』広告の、これは最終回のものです。高精度、すぐれた強度バランス、メンテナンスフリー、高いデザイン性といったキャストホイールの特徴は今や広く知られていますが、こうした広告効果をどうぞお店のセールスにお役立てください。